

小学校英語における4技能の指導について

—「聞く」ことから始めた子どもの
「音声から文字への体験的活動」—

フォニックス・スペシャル2019

講習テキスト① 大阪教育大学 柏木賀津子
kashiwag@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

2017-2019年

子供に文字を指導するには

Q ボトムアップ指導がよいか トップダウン指導がよいか？

A: バランスト アプローチ

放っておいても読める なぞれば読める……は、
指導者の無知からくる

Q アルファベットの字の形は、なぞれば書けるか？

A: 取り出し指導が必要

ひらがなでも、5, 6, 7歳で時間がかかったはず
英語の文字の羅列は、規則通りでなく、大変

Q アルファベットの「音」を知らないまま、自力で読めるか？

A: No ! 仕方ないから暗記させるのが日本の古い指導

暗記を強要して、たくさんの創造や思考をさせる時間を奪っていないか。

フォニックス・スペシャルWS 2017年10月
「音声から文字への5ステップス」

1回目 ステップ1～4
(10月2日) 講義と体験
採用試験に向けて

2回目
(10月16日) ステップ4～5 中学校フォニックス
・活動を1つやってみる
・9月新教材 We Canから(➡3回目)

講習テキスト①より 大阪教育大学 柏木賀津子
kashiwag@cc.osaka-
kyoiku.ac.jp

つくし

はなぢ

すもももももももものうち

新聞を開くと、Nativeの私たちは
意味のあるかたまりや、漢字が浮き上がってみえる。

MIKE

TIME

TRUCK

TR

UCK

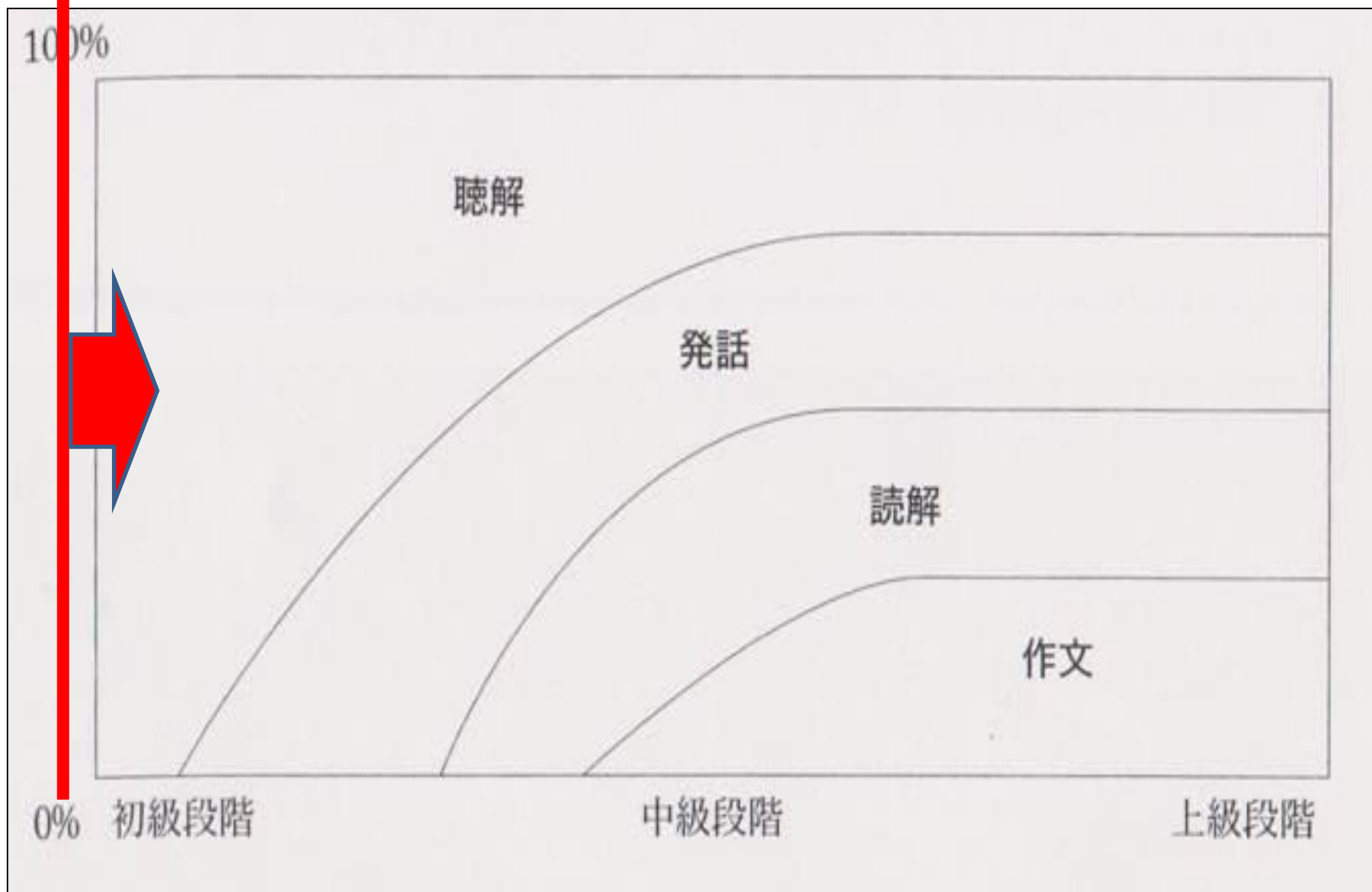
Supercalifragilisticexpialidocious

内容

- 1) 4技能の段階性
- 2) 音声から文字への5ステップス
- 3) Hi, Friends! Plus について

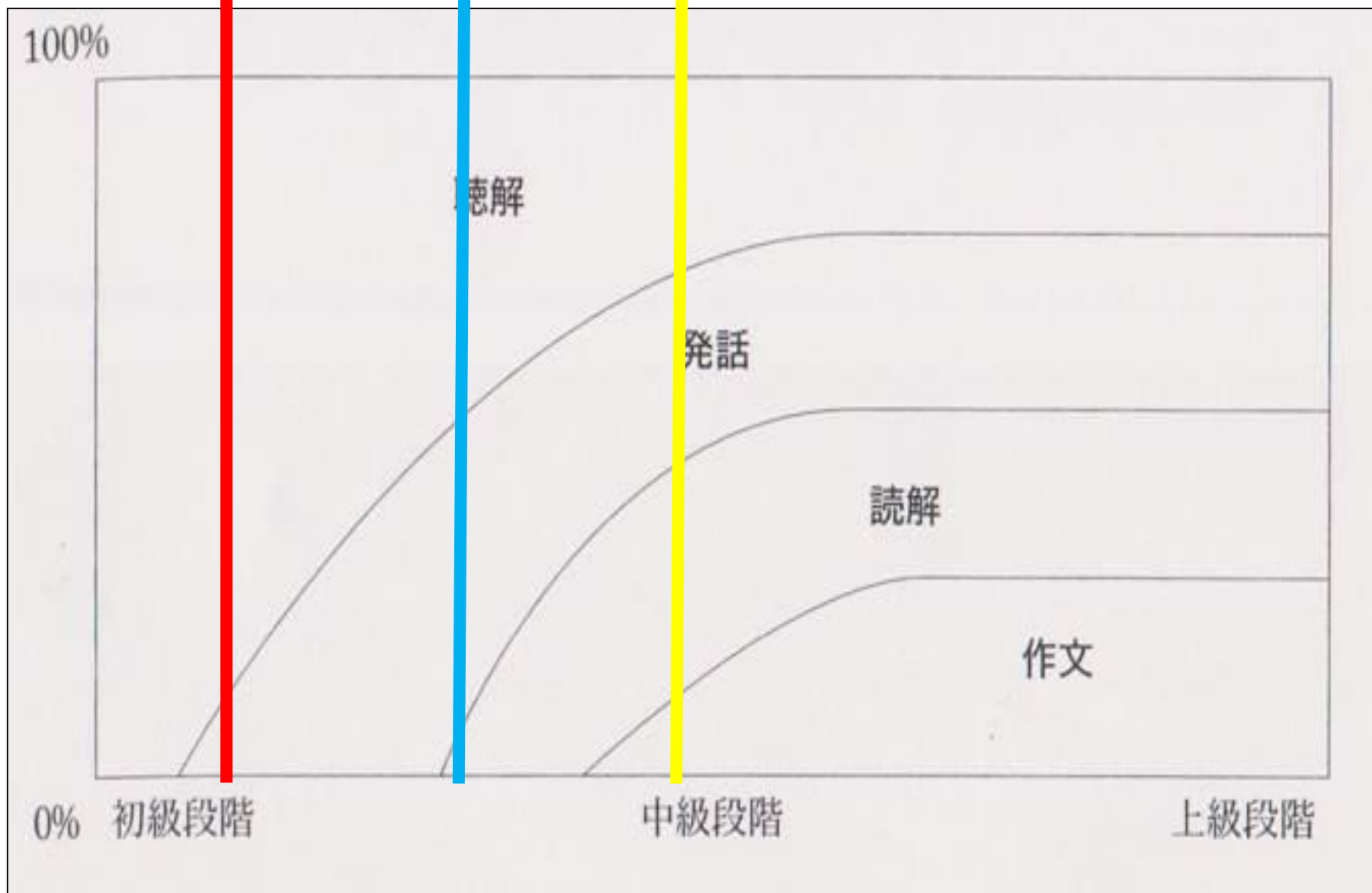
1 4技能の割合

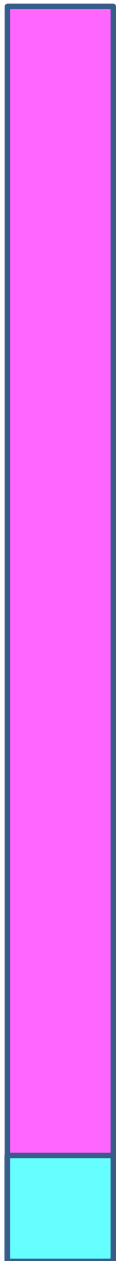
小中高4技能の比率 (中森,2010,p.65)



1 4技能の割合

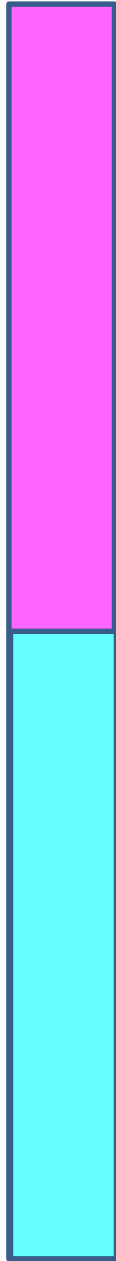
小中高4技能の比率 (中森,2010,p.65)





聞く

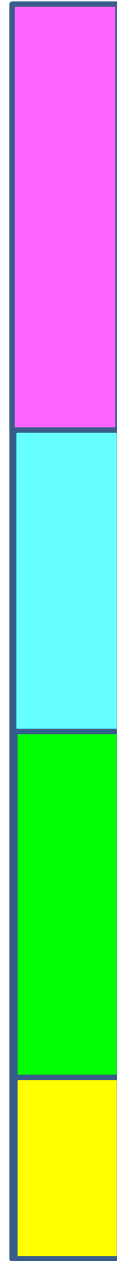
話す
(模倣)



聞く

(日本では
この指導は
ほぼない)

話す
(模倣)
初期産出



聞く

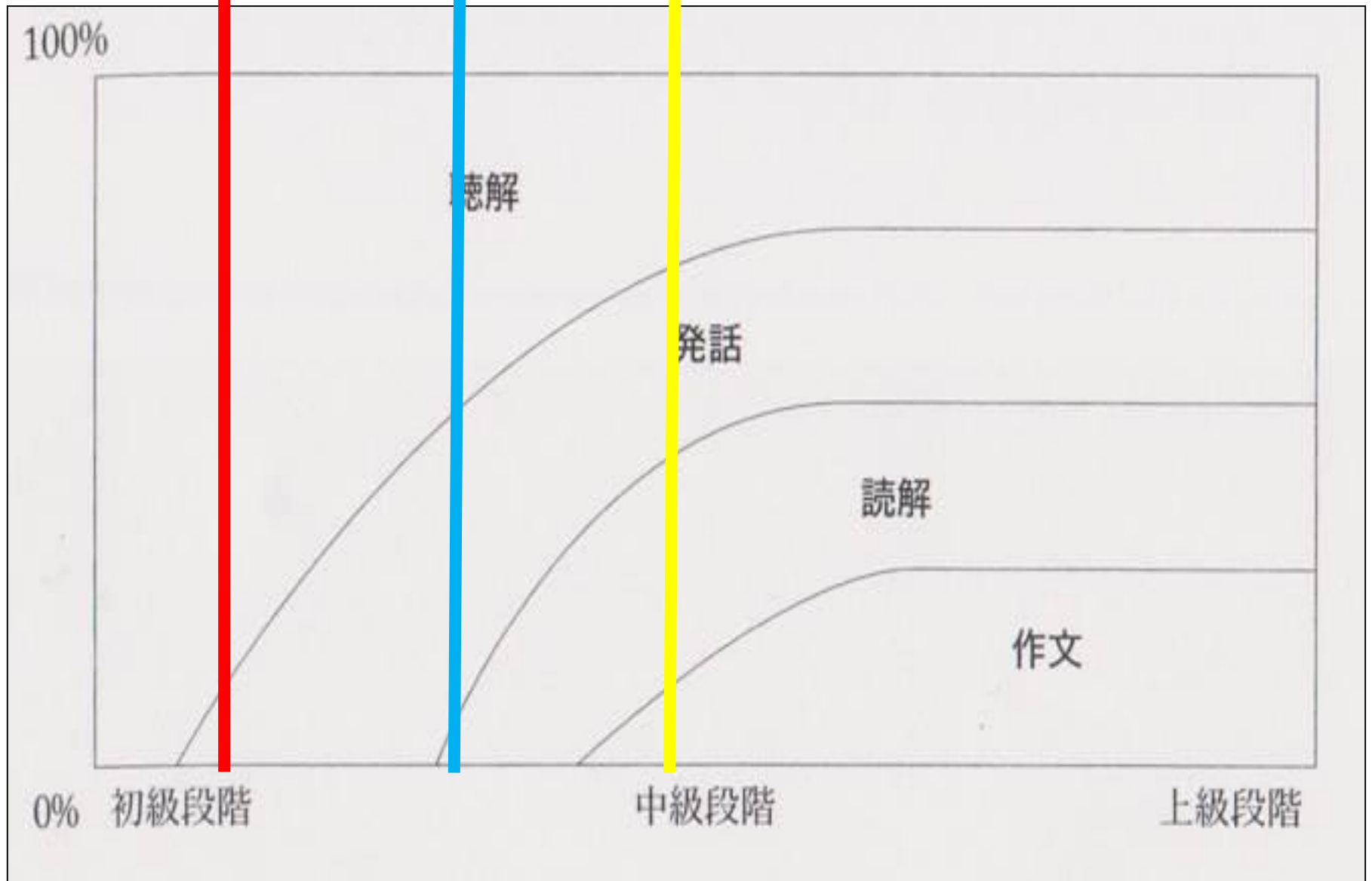
話す

読む

デコーディングから
(日本では
ミッシングリンク)

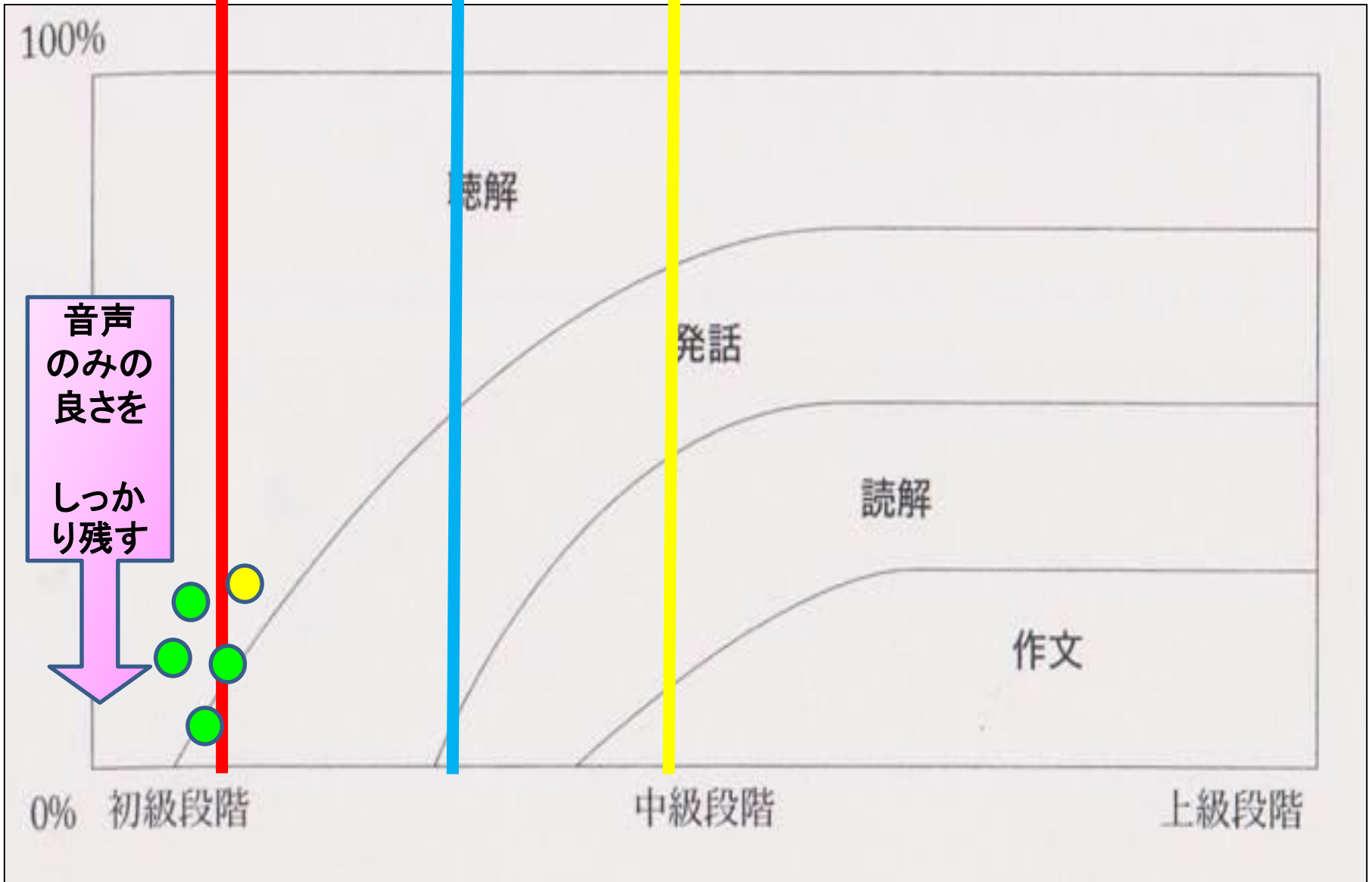
書く

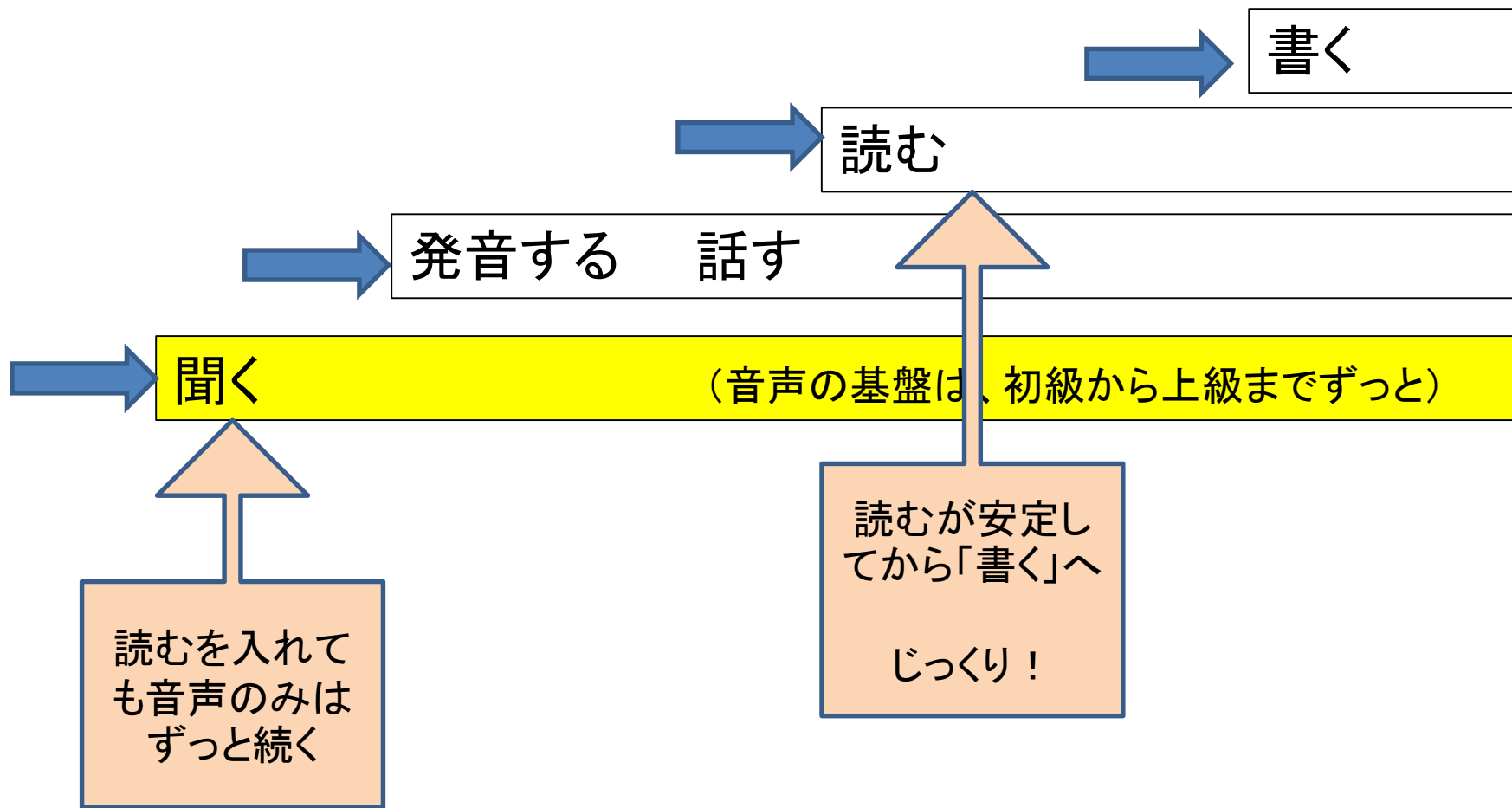
つまり今小学校英語が目指していることは・・・



1 4技能の段階性・割合

小中高4技能の比率 (中森,2010,p.65)



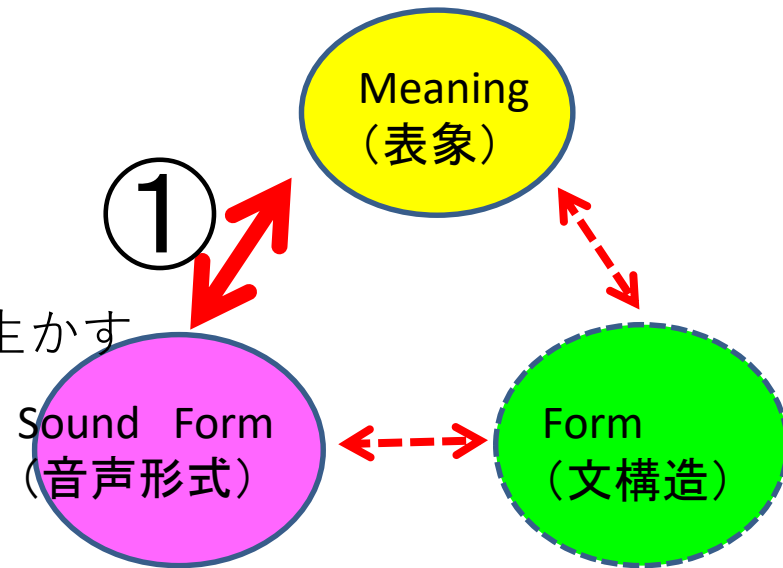


第2言語習得理論から

(1) 耳をすまし、音声の特徴と大まかな意味を結びつける「学びの基盤」
(form-meaning connections)

(2) 「聞く」ことから始めた子どもの強みを生かす
(phonological awareness)

①を頑張ってきた子どもは、
音をカテゴリー化し、特徴をとらえやすい



② 音を助ける
(文字と繋ぐ)

やがて「音のかたまり (音韻⇒音素)」で読める子どもになく方向を念頭に指導者は流れを作る必要がある。

デコーディング → 自立した学習者へ
(Kashiwagi, 2012)

音声基盤が、すべてを支える理由

- 1) 接触量が多くなると音声チャンクから意味がわかるようになる(まとまりのある話を聞かせる) 頻度(Frequency) ↑
- 2) 母語にはない音素(子音と母音)かたまりを聞いて識別できてから、fat cat 音と綴りに入ると、スムーズ
(ローマ字の知識でなんとかしようとし、違う音になる)
- 3) 音に慣れる前に文字でグイグイ押すと、認知処理が大変！
(難しい きらい) **文字があると楽なのは教師側？**

初めて見る単語なのに。文字も一緒に見せる！？



foot

しかし、日本では「聞く・話す」の指導技術が遅れているため、「読み書き」に急いでしまう。

(1)

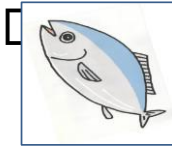
□at



b f h c □

(3)

□ish



p h v f □

(2)

□mbrella □



a o u w □

N市(小5・6・中1)における「音韻認識5ステップス 直前の「耳を澄まして」クイズ

(4)

□ost



p b v f □

(5)

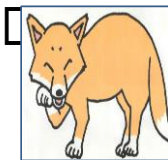
□erry



th sh
ch ti □

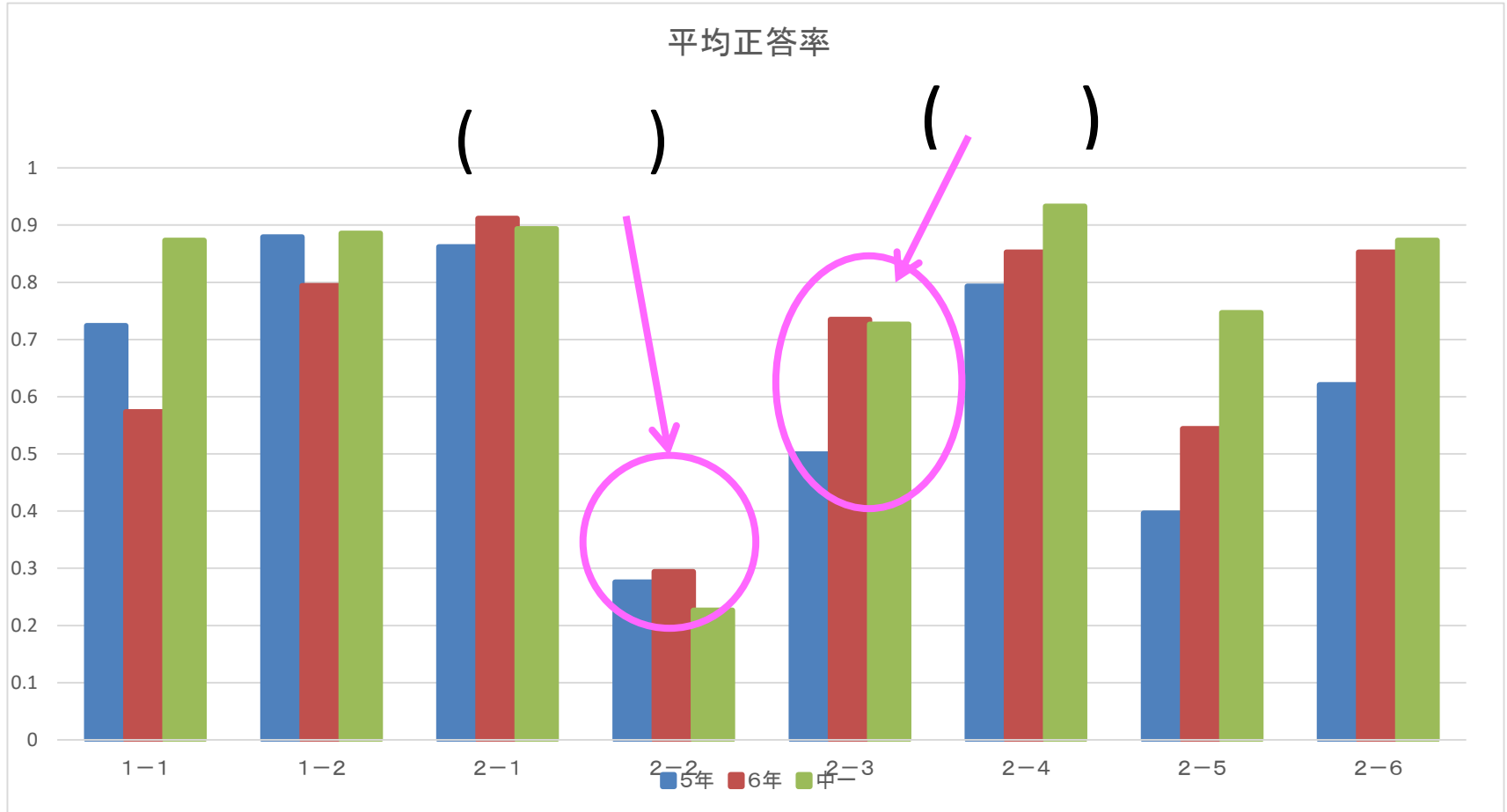
(6)

□ox



b f d p □

N市(小5・6・中1)における「音韻認識5ステップス 直前の「耳を澄まして」クイズ



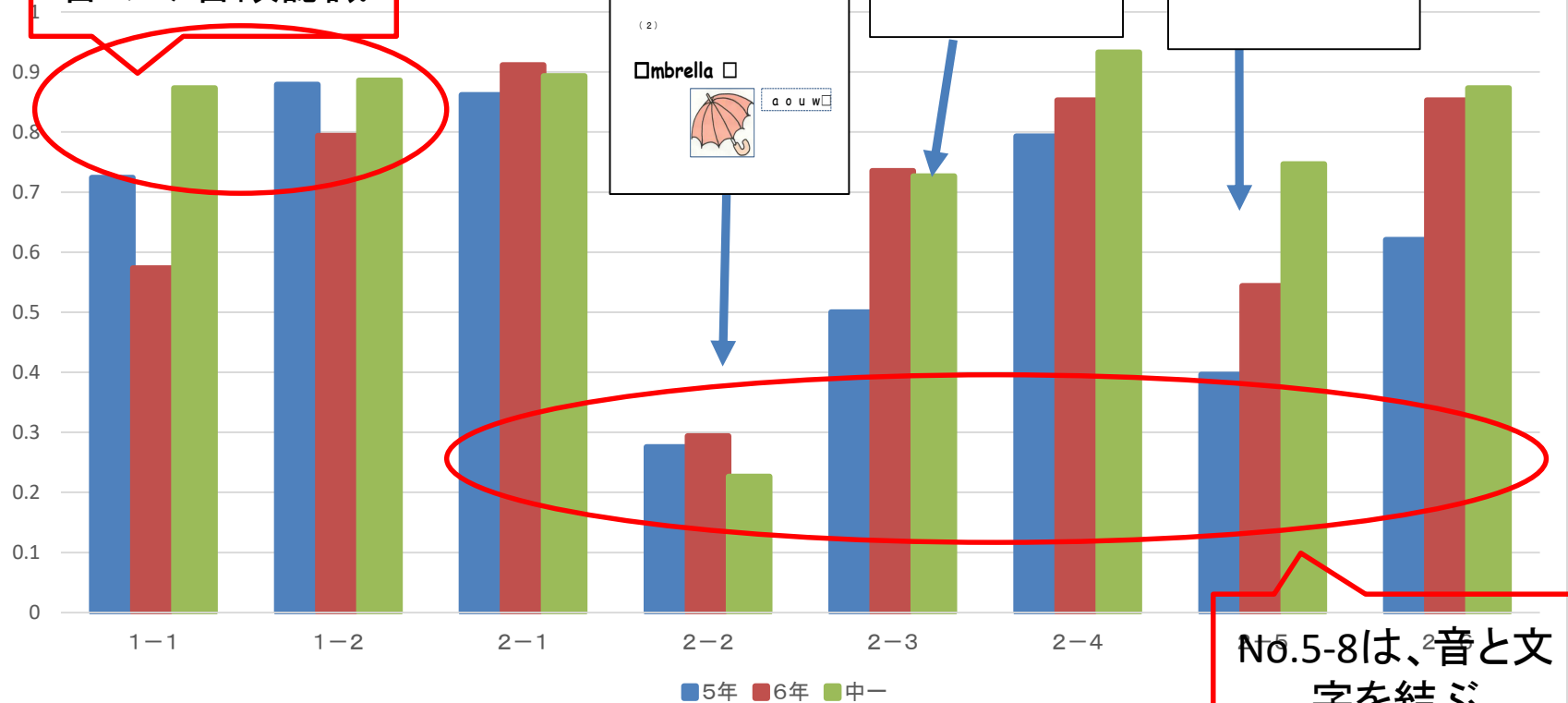
平均正答率	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6
5年	0.724	0.879	0.862	0.276	0.500	0.793	0.397	0.621
6年	0.574	0.794	0.912	0.294	0.735	0.853	0.544	0.853
中1	0.873	0.886	0.893	0.227	0.727	0.933	0.747	0.873

N=58 小5
 N=68 小6
 N=150 中1

(中田 & 柏木, 2015)

No.1.2は 文字と
むすばない
音のみ音韻認識

平均正答率

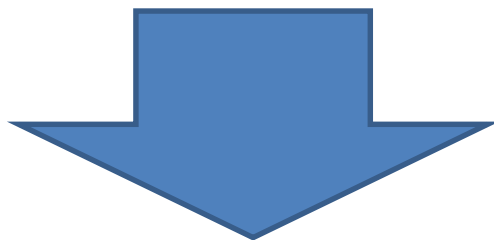


No.5-8は、音と文
字を結ぶ
クイズ

平均正答率	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6
5年	0.724	0.879	0.862	0.276	0.500	0.793	0.397	0.621
6年	0.574	0.794	0.912	0.294	0.735	0.853	0.544	0.853
中1	0.873	0.886	0.893	0.227	0.727	0.933	0.747	0.873

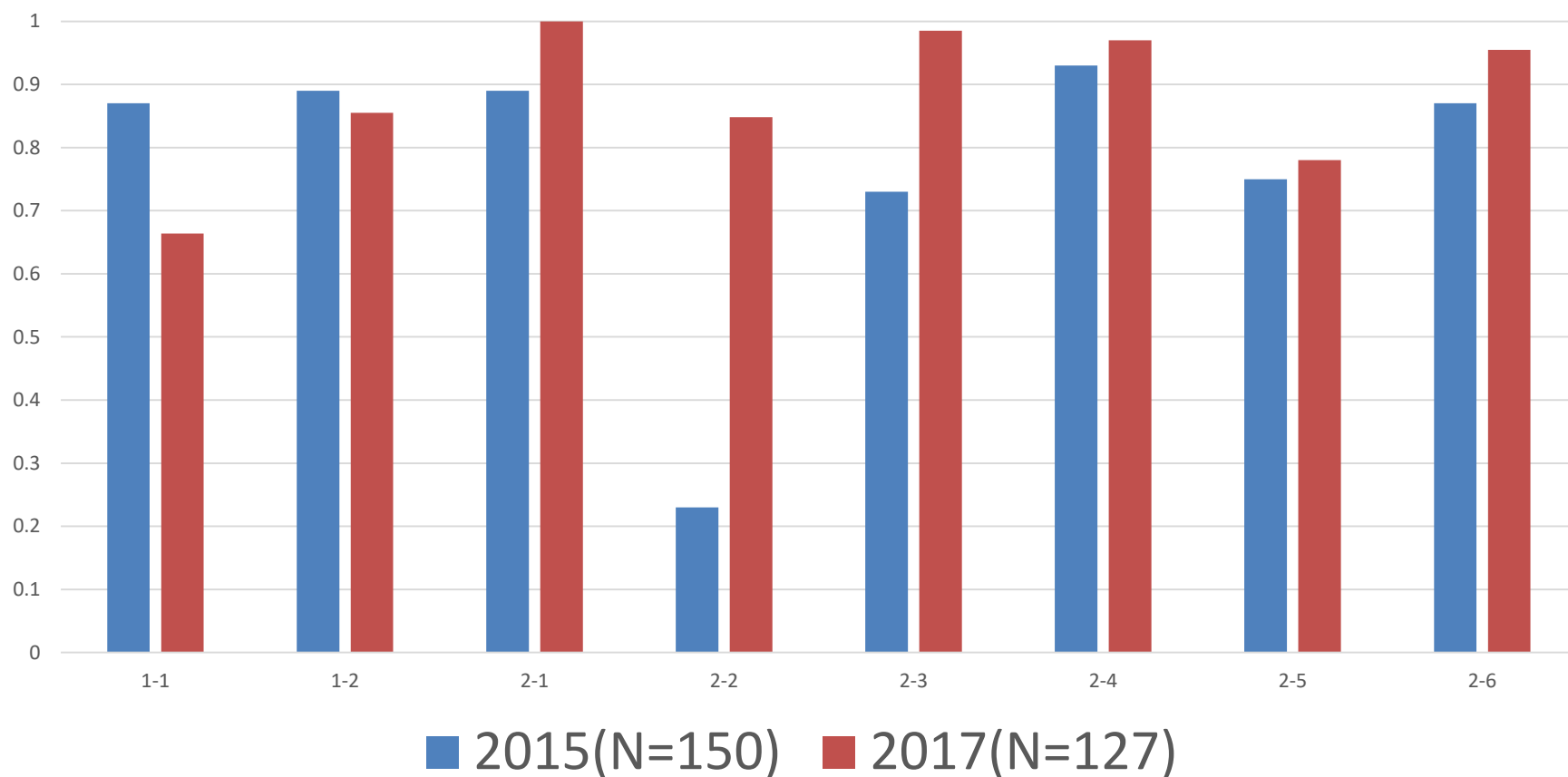
8分 × 15回 × 2年(5・6年)
担任の先生指導

5年生だった児童が中1になりました。



先頭音の聞き取り平均正答率の比較

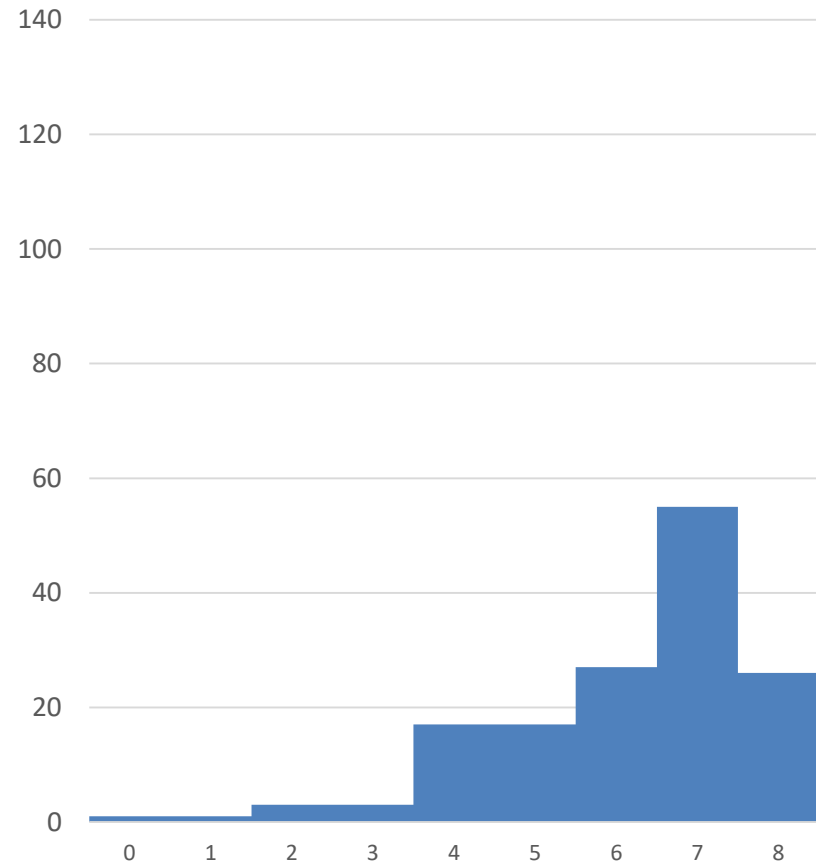
2015年度中1と2017年度中1との比較



先頭音の聞き取り

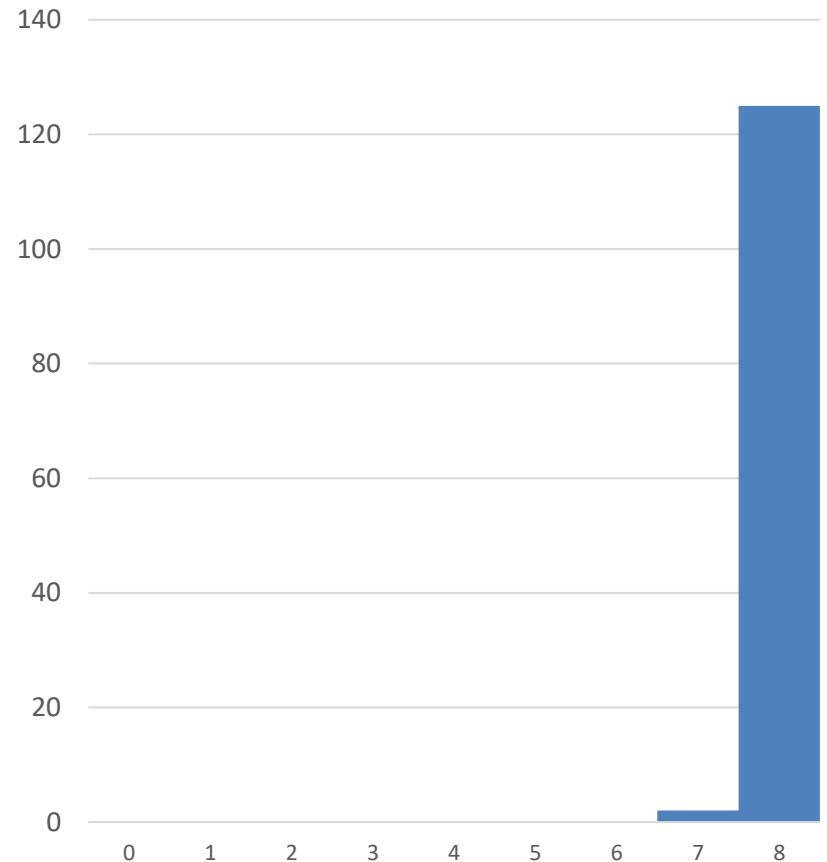
2015年度中1と「5ステップス」の指導を2年間受けた2017年度中1の正答率分布を可視化(ヒストグラム)

2015年度中1



N=150

2017年度中1



N=127

縦軸:人数 横軸:スコア

(2) 2015年時小5から2017年時中1への経年比較

	小5	中1
n	127	127
平均	4.22	7.98
標準偏差	2.14	0.016
最小値	0	7
最大値	8	8

小学校5年生より、週1回
10分～15分程度の音声か
らの文字指導を2年間実
施。

(8分 × 15回 = 240分)

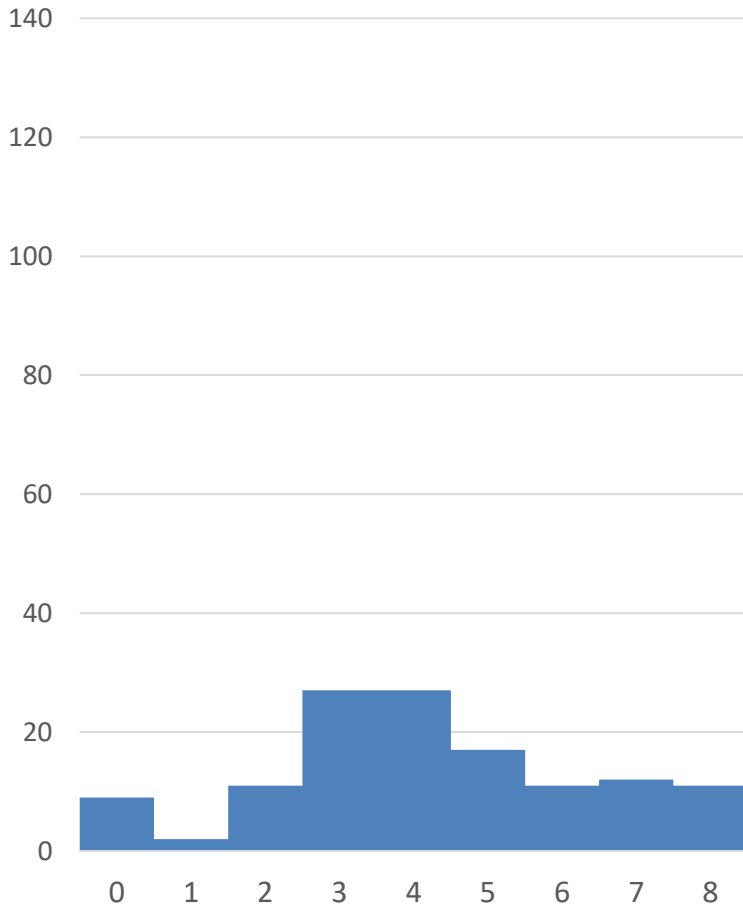
記述統計量

問題数 8問 No.1-2 音韻認識(仲間のことば 先頭音 聞き分け)
No.5-8 音と文字の一致

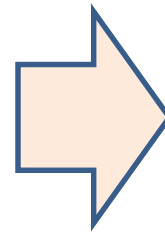
先頭音の聞き取り

事前5年と事後中1の変容 分布を可視化(ヒストグラム)

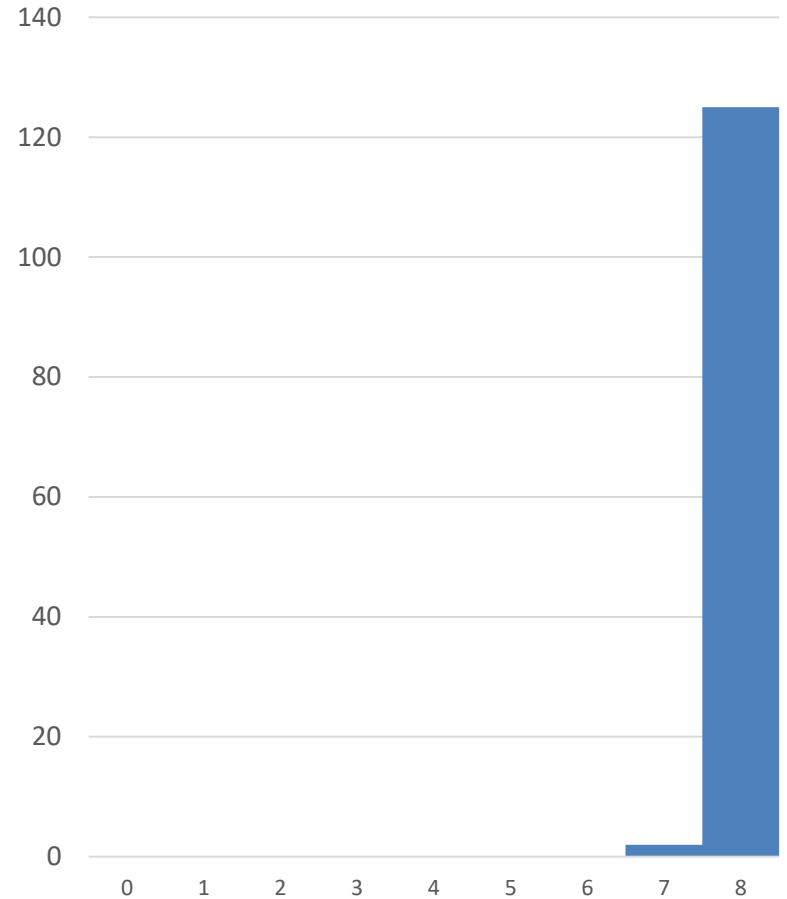
事前5年生



N=127



事後中1



N=127

縦軸:人数 横軸:スコア

問題ごとに分析すると・・・(大学院生へ)

結果 事前と事後比較 記述統計量

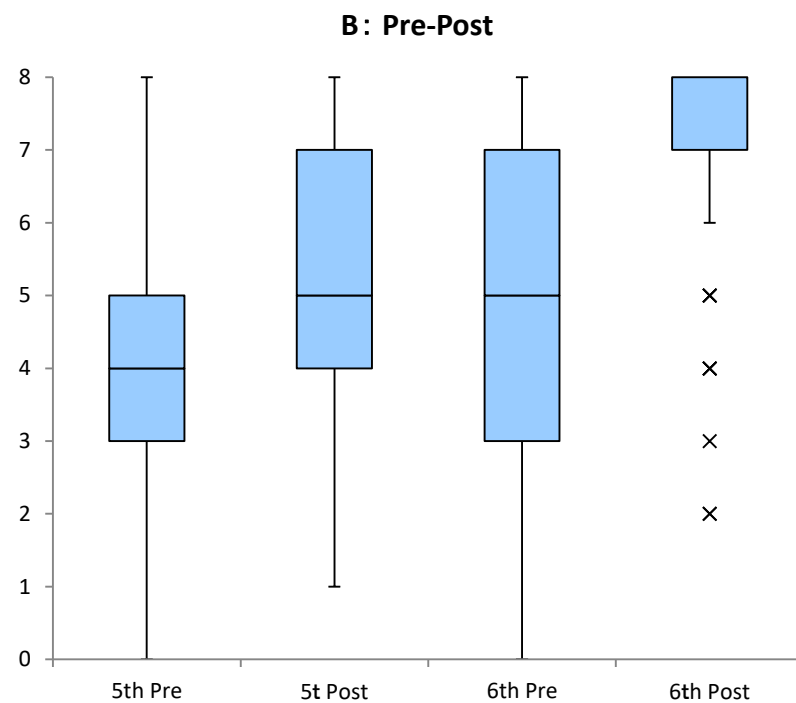
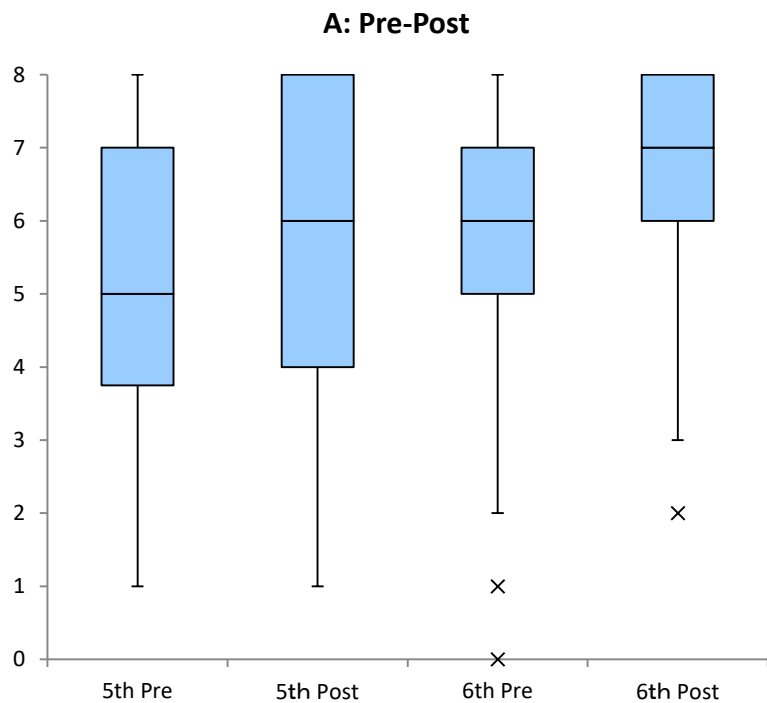
	A小 事前・事後 記述統計量				B小 事前・事後 記述統計量			
	5年事前	5年事後	6年事前	6年事後	5年事前	5年事後	6年事前	6年事後
人数(n)	56	56	62	62	71	71	69	69
平均	5.02	5.66	5.61	6.56	3.59	5.34	4.84	6.99
標準偏差	1.98	2.23	1.83	1.48	2.05	1.85	2.25	1.46
最小値	1	1	0	2	0	1	0	2
最大値	8	8	8	8	8	8	8	8

A小 5年 N=56 6年 N=62

B小 5年 N=71 6年 N=69

問題数 8問 No.1-2 音韻認識(仲間のことば 先頭音 聞き分け)
No.5-8 音と文字の一致

結果 事前と事後比較 箱ひげ図



A小学校

B小学校

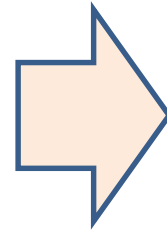
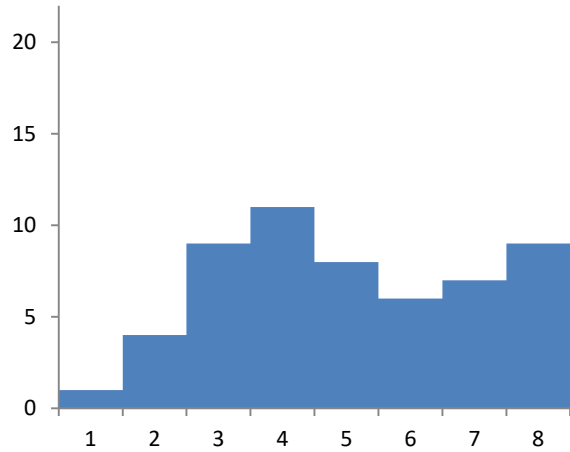
事前・事後の変容 統計分析

Comparison		<i>df</i>	<i>t</i> value	<i>p</i>	<i>r</i>
School A	5th Pre-Post	54	2.1407	0.0368*	.28 Small
	6th Pre-Post	60	5.0561	0.0000**	.55 Large
School B	5th Pre-Post	69	5.6103	0.0000**	.56 Large
	6th Pre-Post	67	7.5374	0.0000**	.68 Large

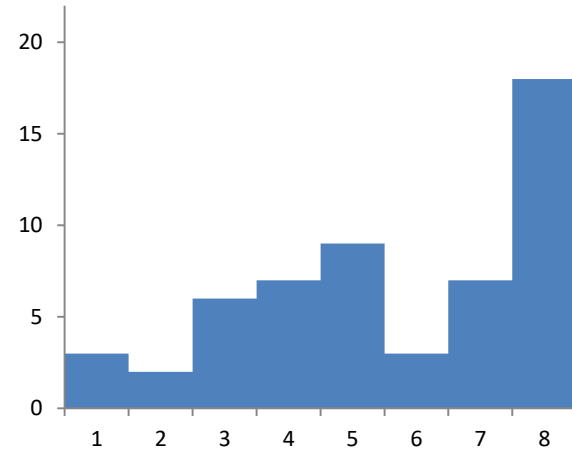
Note: *r*=effect size. **p*< .05, ***p*< .01

分析A小 事前・事後の変容 分布を可視化(ヒストグラム)

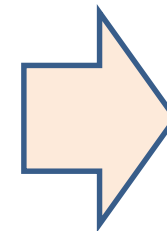
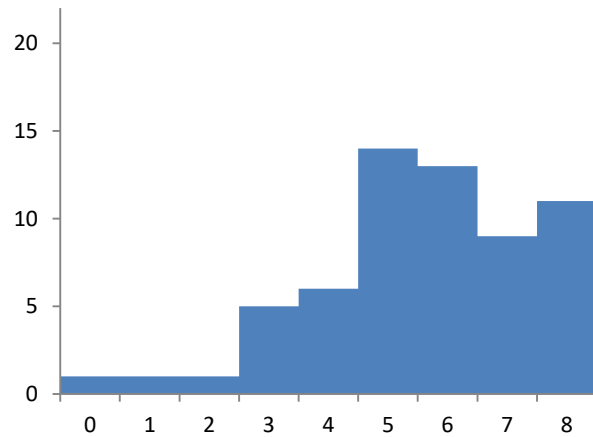
5th Pre



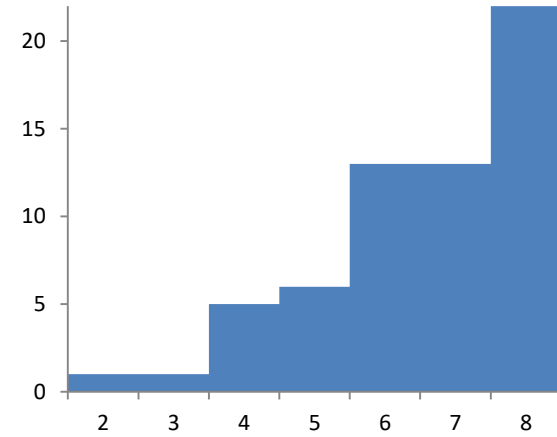
5th Post



6th Pre



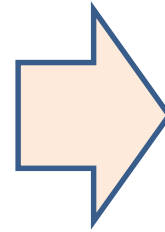
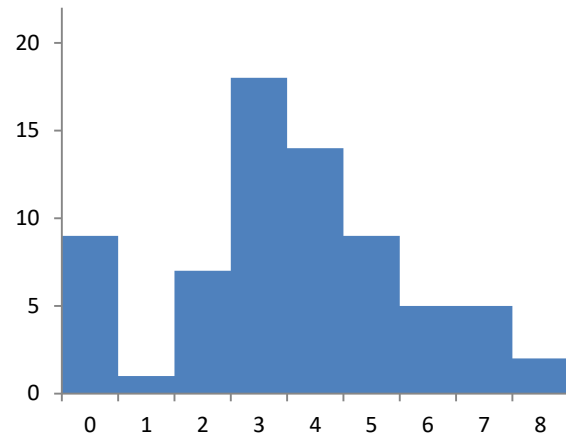
6th Post



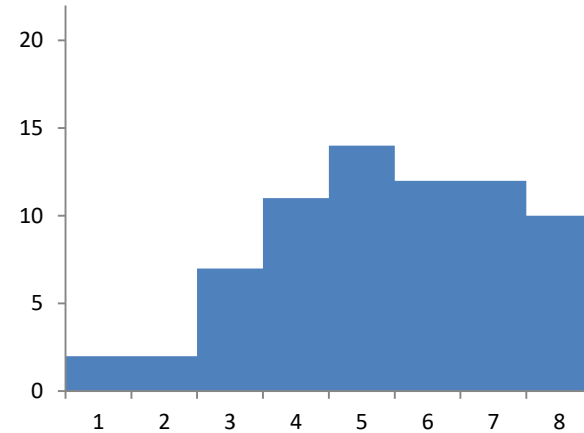
縦軸:人数 横軸:スコア

分析B小 事前・事後の変容 分布を可視化(ヒストグラム)

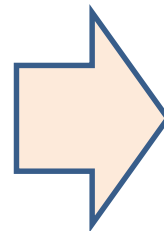
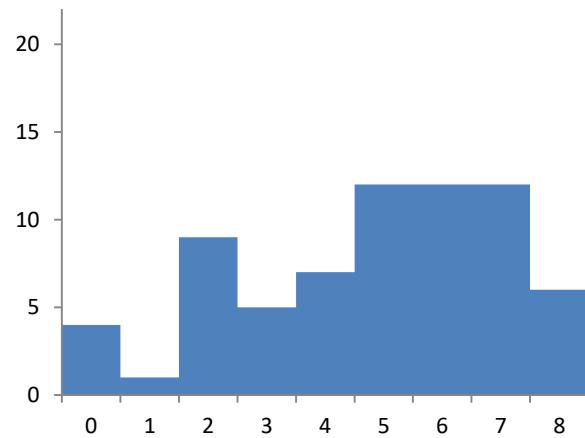
5th Pre



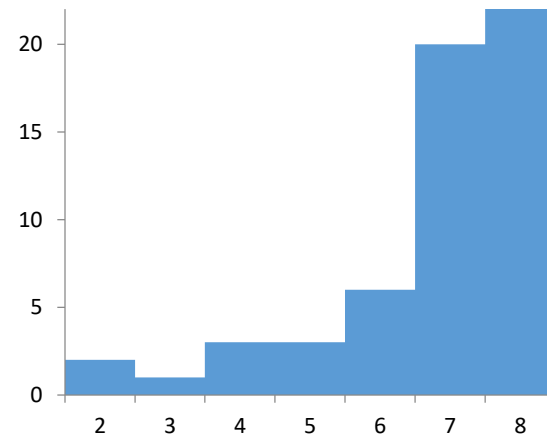
5th Post



6th Pre



6th Post



音韻認識得意群と苦手群の 音と文字の一致の様子

PA: Alliteration (Odd-One-Out)	Descriptive Statistics			Comparison between groups			
	<i>n</i>	<i>Ave.</i>	<i>SD</i>	<i>df</i>	<i>t-value</i>	<i>p-value</i>	<i>d</i>
PA: Upper-G	156	5.23	1.63	256	8.29	.0000**	1.28 Large
PA: Lower-G	102	3.88	1.578				

Note: r =effect size. * $p < .05$, ** $p < .01$

N=258人

問題A群 (No1.2)は先頭音の聞き分け (odd-one-out)である。

問題B群 (No.3-8)は先頭音 (f·ish)や頭音素 (ch·erry)と文字の一致である。

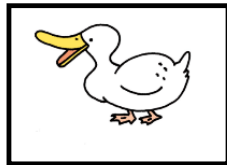
全対象者258人の事後で、先頭音のみの聞き分けが得意なPA:Upper群 (Mean=5.23,SD=1.06)と伸び悩んだPA: Lower群 (Mean=3.88,SD=2.49)では、そのB群問題に有意な差がみられた ($t(154,100) = 8.29$, ** $p = .000$, $d = 1.28$ 、効果量大)、文字と一致する前の「音韻認識」をしっかり育てる重要性の示唆を得ることができた。

事後テストさらに分析中

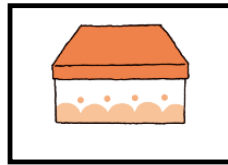
3 1. 3つ絵のうち終わりの音が1つだけ違うよ。どれかな。

(まず、練習しよう)

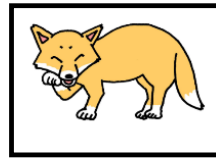
現在分析中



()



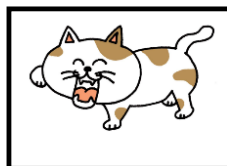
()



()



(1)



()



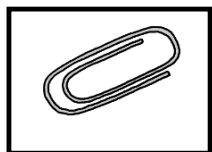
()



()



(2)



()



()

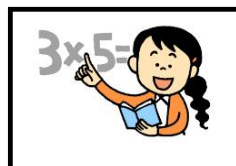


()

(3)



()

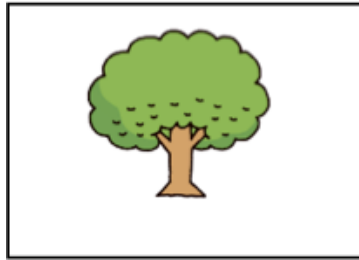


()



()

4. 音を聞いて空いている にあてはまるものに○をつけて書き写そう。
(練習しよう)



tr

ie ee ea

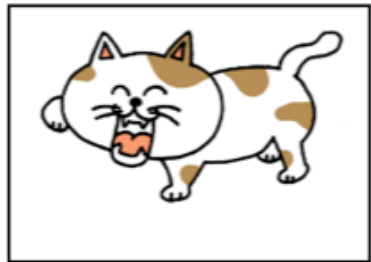
(1)



b k

uu u oo

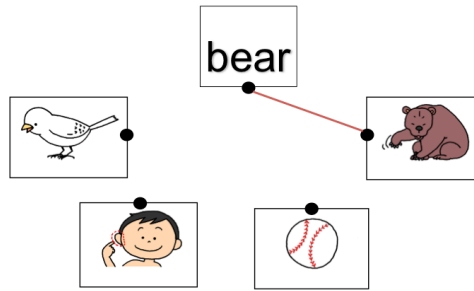
(2)



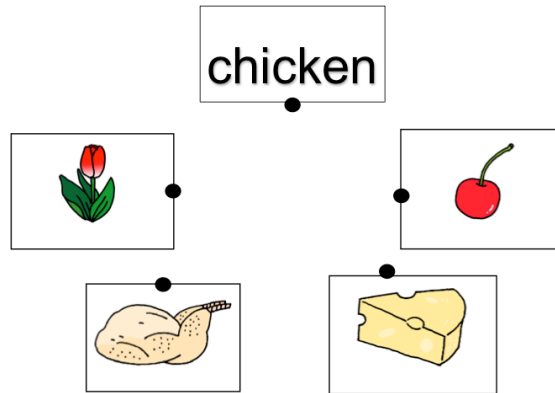
c

ap at ut

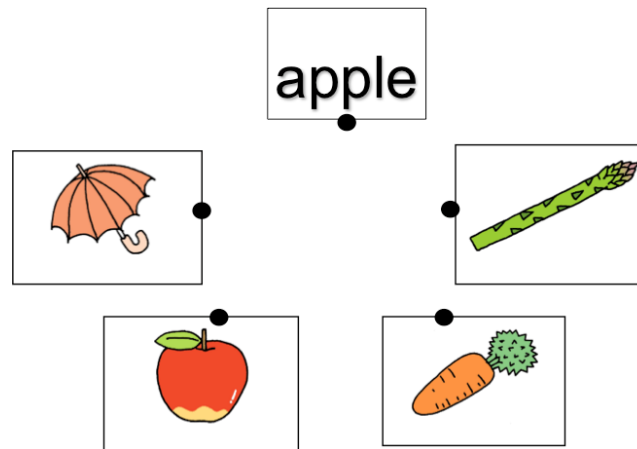
7. アルファベットが表しているものは何かな。表している絵を選び線で結びましょう。
(例)



(1)



(2)



2 音声から文字への5ステップス

1 音声からの文字導入で大切なこと

1) まず音韻認識、やがて音素認識へ



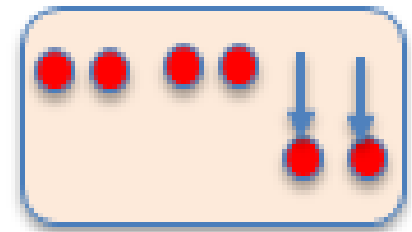
耳で！子どもには文字は最後まで見せない！

Mrs. Price's Mice

Mrs. Price had two pet mice,
very, nice, two pet mice,
every day she fed them twice,
two tiny bowls of rice.

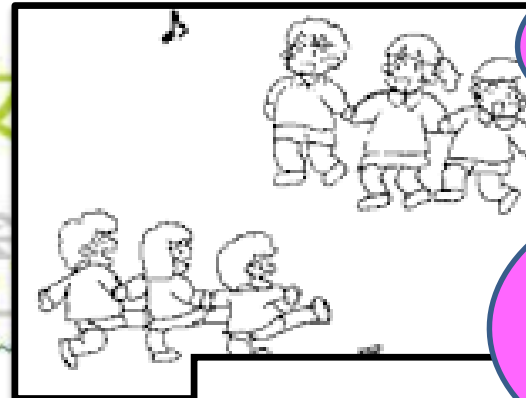
2) 耳を澄まして、体で反応して、去

井上桃子(大阪教育大学 修士論文2012)より →



音声から文

5ステップ



花一もんめ

年齢に合った
音韻の活動
を!

ステップ1 音韻を体で感じる活動 絵本に耳を傾ける活動

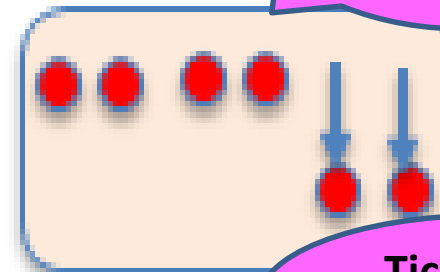
ステップ2 アルファベット大文字の形 名前読み 絵本の音声

ステップ3 アルファベット小文字の形 仕事読み 絵本の音声

ステップ4 アルファベット大文字と小文字の一致 先頭音の聞き分け 9つのサイトワード
絵本についている短い文を目で読む活動 9つのサイトワード

ステップ5 語尾音の聞き分け 9つの音素 母音の聞き分け (a e i o u)
絵本についている短い文を目で読む活動 身の回りの単語を
短い単語の写し書きを楽しむ活動 9つのサイトワード

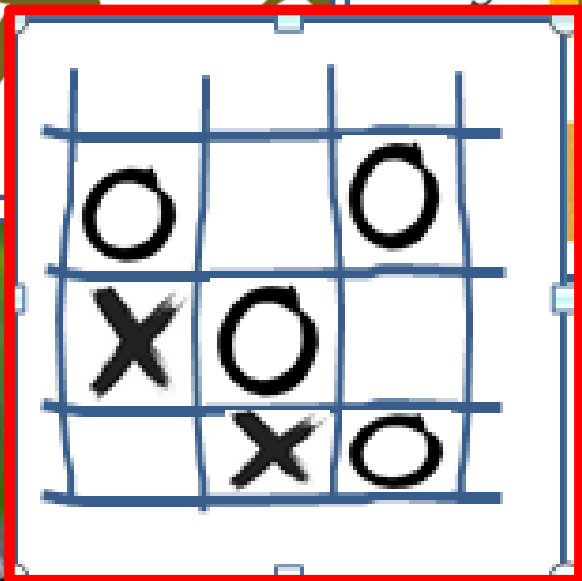
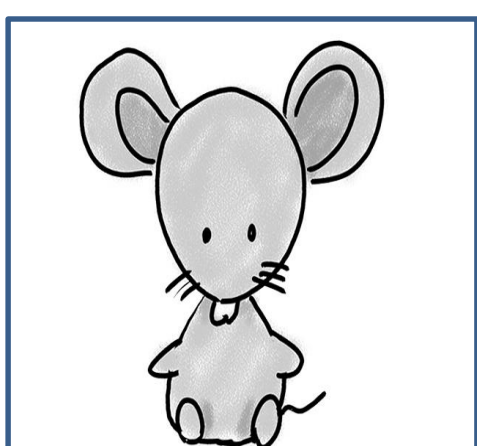
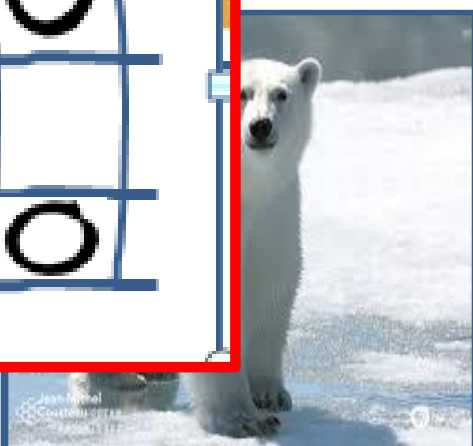
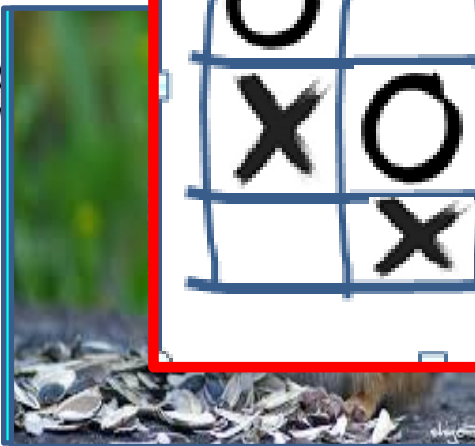
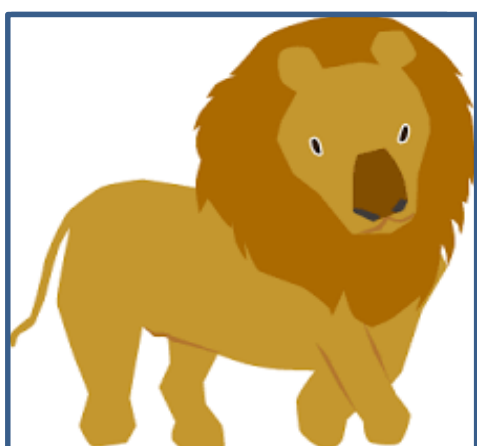
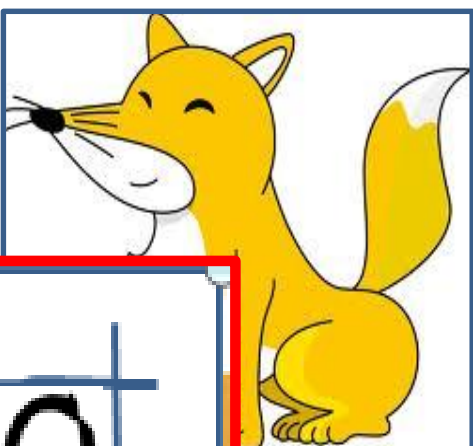
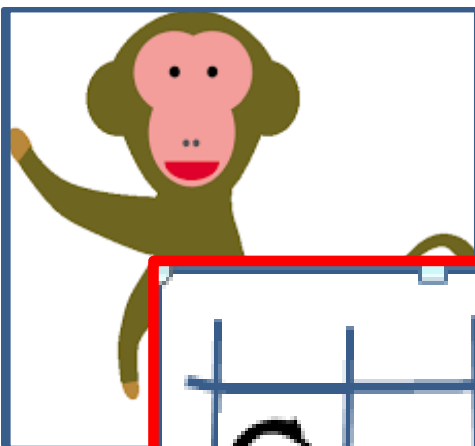
*ステップ1~5は中学校1年生でも必ず音声から復習します(

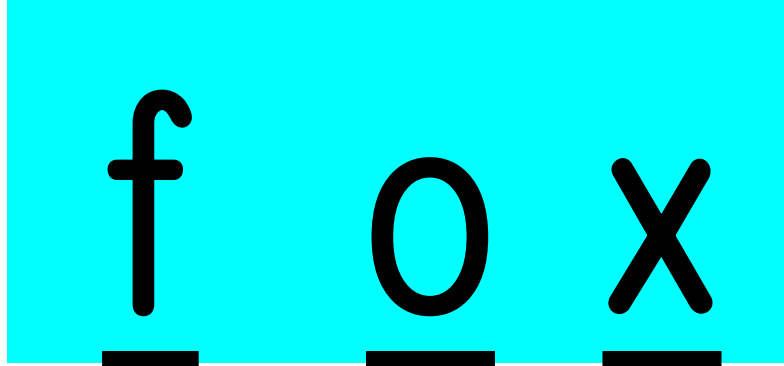
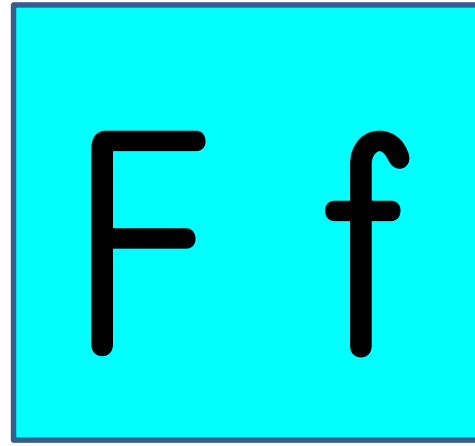
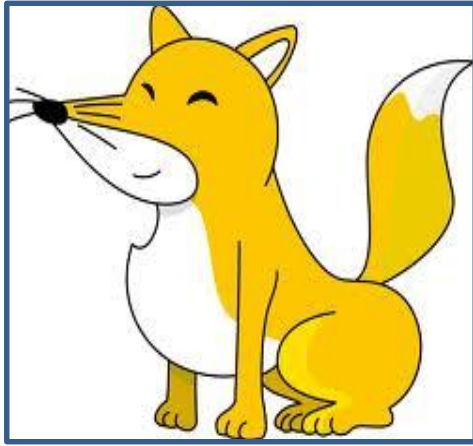


Tic Tac Toe
グループで



Tic Tac Toe 體驗





出だしの音
オンセット

終わりの音
ライム

音韻→音素
英語の
最小のかたまり

文字を教えるというよりも 音声の中の

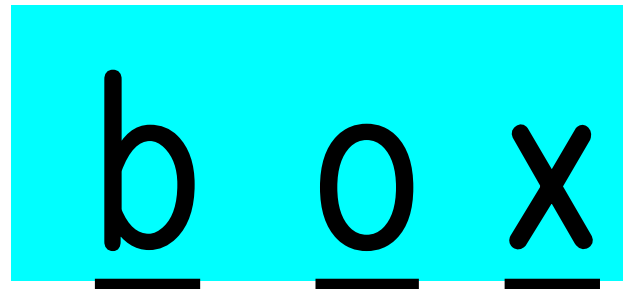
「どこに注目して聞けば良いか」

を体感する活動のありかた

→ 新しい単語 でも読めるようになる、「**認知の方法**」を体験させていく
教え方そのものが、Reading力に大きな影響

Grapheme-Phoneme Mapping (Schaffhauser , 2015)

Grapheme
/f/を表すの
文字の集合
f ph gh



b o x

フォニックスの30年の歴史をもつ海外の小学校での検証(US)

→暗記して読む(右脳のみ)ではなく、左脳を活性化すること

How Phonics is Taught Can Affect How Well a Child Learns To Read

"grapheme-phoneme mapping

- By Dian Schaffhauser
- Response to activity done through sounding out letters called on left-brain activity, where visual and language regions reside and that predominate among people who are skilled at reading. The activity of memorizing words in their entirety tended to show up in the right hemisphere of the brain.

using the grapheme-phoneme focus, they could read new words

音声から文字のゆるやかな5ステップス (Bear,R. et al, 2007)

	USAは4歳~8歳 日本は小3~中3	内容	代表例
I 4歳 小3	Pre-phonemic Phonological awareness Syllables (in rhythm)	音韻認識以前 (耳と体で) 音韻認識	文字の形の識別 B-b D-d "Fat cat sat on the mat"
II 5歳 小5	Phonemic awareness Blending	音素認識 (文字・音素の分け)	26文字の順 名前読み⇒仕事読み c/a/t sh/wh/ch/
III 7歳 小6 中1	Rhyming&Alliteration Blending Onset & Rhym	終わりの音 始めの音 単語内の音	sail-mail black-bloom c/ry-ake g/reen bl/st/pl f+oo+t
IV 7歳 中1	Syllables Onset & Rhym Prefixes&Suffixes	音節 接頭辞・接尾辞 ワード・ファミリー	oc/to/pus ワード・ツリー co-(共同の)-ation(名詞を作る)
V 8歳 中2~ 大人	Decoding Advanced reading	音素認識で辿り読み ストーリーへ トップダウン⇔ ボトムアップ	Phonemes(音素)のカテゴリ化 ルールハント シェアードリーディング 短いお話を書く

「繋ぐ・・・」が抜け落ちないように

5ステップス 手引き書のコンセプト

3C

Classroom

Communication

Cognition

Classroom

(40人学級で、担任が取り組む
文字指導)

Communication

(友だちとペアワークやグループ
ワークでできる文字指導)

Cognition

(音韻や音素・パターンに気づくように、
子どもの認知力に深く働きかける指導)



耳と操作の呼応

友達と見つける

認知にはたらきかける(並べる 体で反応
カテゴリー分け 多重性知能をふんだんに！)

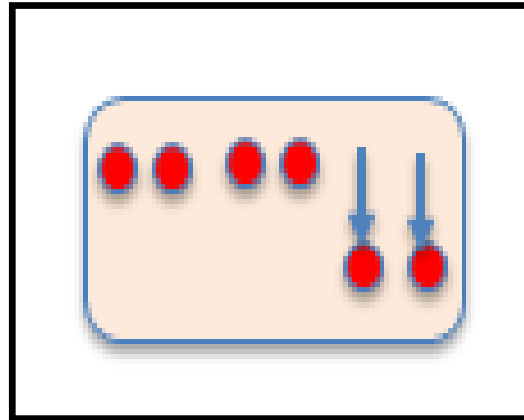
ポイント 手引き：音韻一音と文字

(柏木&中田)

韻を感じて歌う 花ーもんめ



音韻認識 耳とおはじき



出だし音と文字の一致



Tic Tac Toe

音で -OX

“fox mox
in the
box”

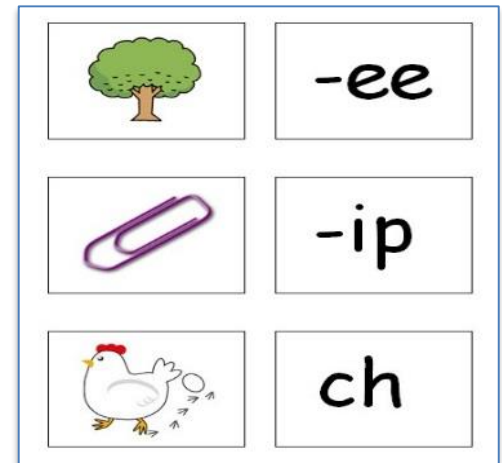
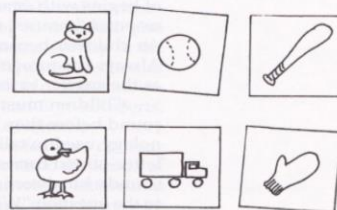
出だしの音

終わりの音

二つで一つ
(よく使う音素かたまり)

Hi, Friends! Plus
このうちの1プロセス

FIGURE 4-6 Odd-One-Out with Rhyming Words

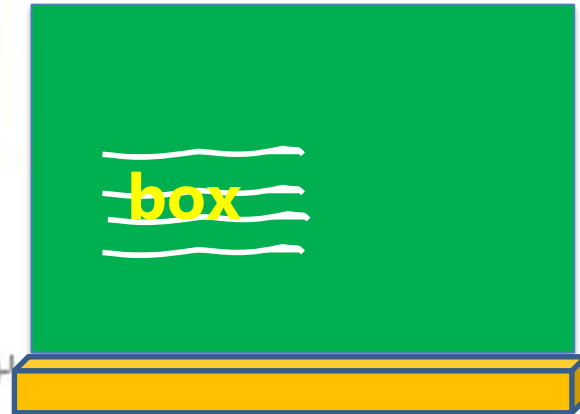


アルファベットの帯 小文字で「音読み(おとよみ)」

名前読み(エー、ビー、スィー) との音声の違いは大切



4線は、簡単に
チョークで黒板に！



● は母音

● は無声音

無声音→喉が震えない (c f h k p q s t x)

4線の「1階」「2階」「地下」のどこに書くかを意識させる。例えば g は、「1階」と「地下」である。

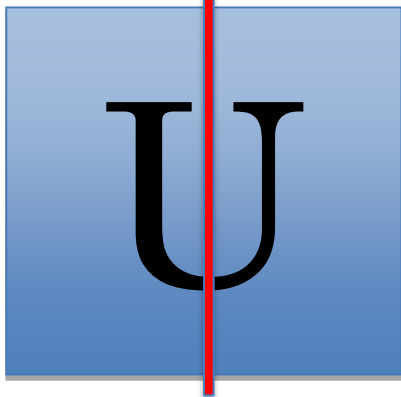
↑
ジーでなくて、**グッ**

松香・田縁(2011)参照

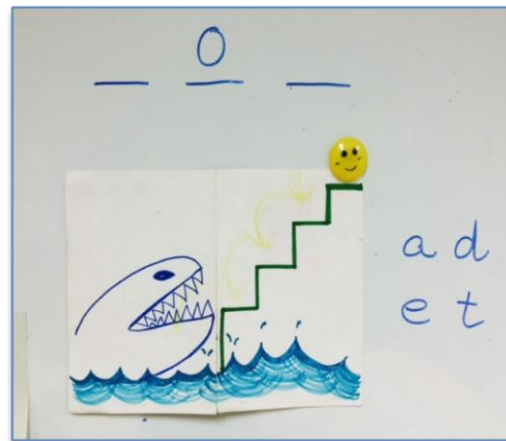
柏木-クラスで作成

手引き（試行版）：小文字と大文字を認識できるまで、混ぜない
視覚認識 例

形の認識

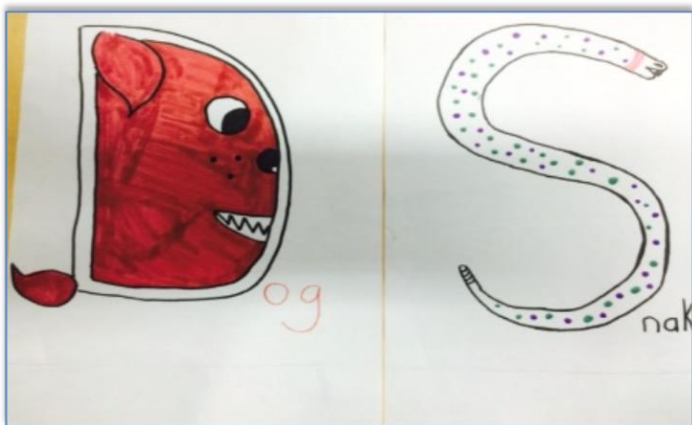


三つ 音読み（例外のないもの）



鏡文字を「実験！」 鏡を使って遊ぼう

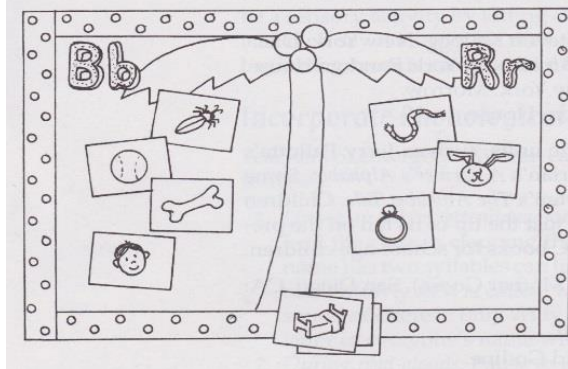
O S T



3つ音読み一足し算

f/o/x **p/i/g**

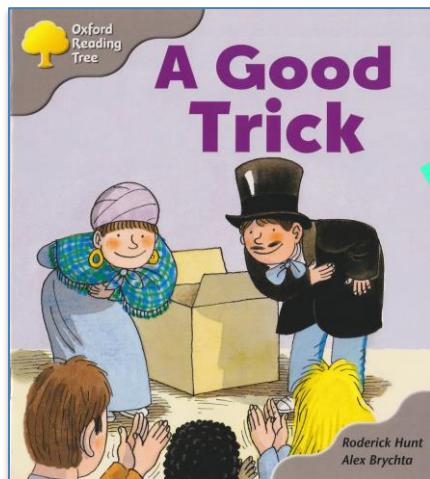
FIGURE 4-16 Chicka Chicka Boom Boom Board



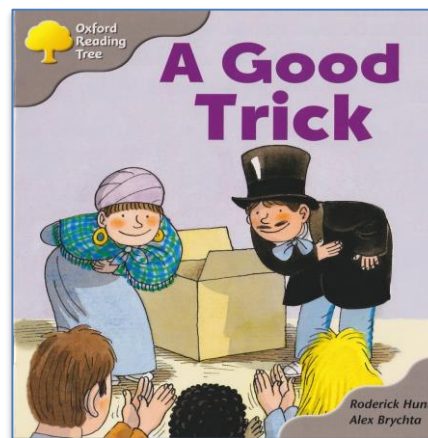
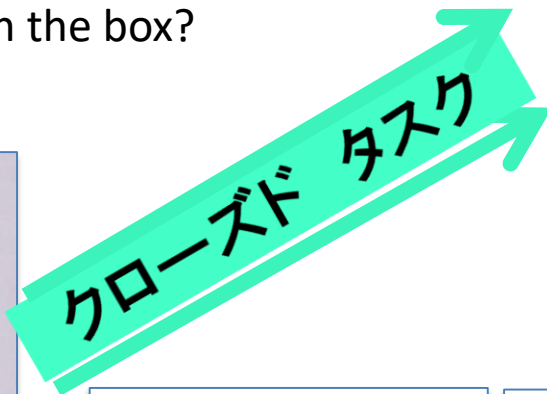
イニシャルABC コンペ（柏木-クラスで作成） ぶんぶんボード（B-b で始まるball, boy, bone）




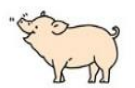


手引き（試行版）：クローズドタスク 例

a big box. What's in the box?



お話
(トップダウン)



	sh		-at
	wh		-ig
	oo		-ox

あれれ？読めちゃった！

(クローズドタスク
内でのデコーディング
で早めに成功感へ)

音素(ボトムアップ)
(出だし・終わり・中)

大阪教育大学「初等英語教育法」

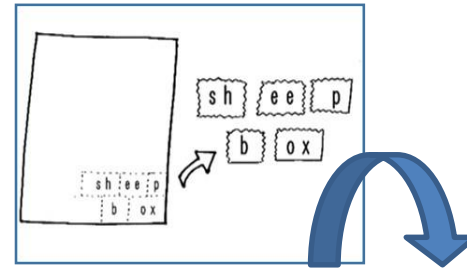
音と綴りを結んで、たどって読む >>> 写して書く>>>>> 創りだして書くのはまだ先

認知にはたらく活動例

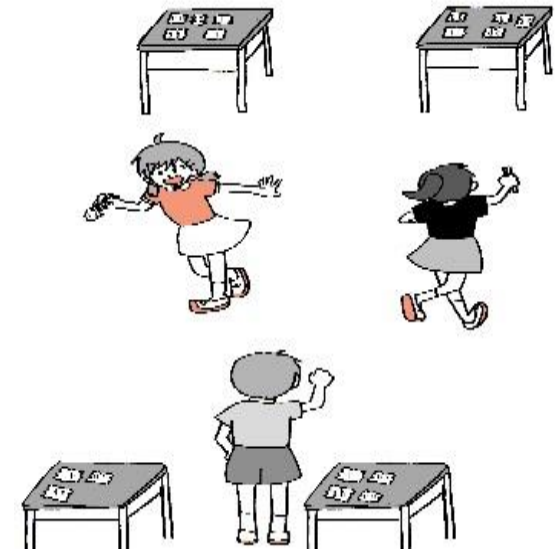
たのしそう・・・おもしろそう・・・だから、ではなく、
意識・認知にはたらき、学び合えるから「ストン！」



耳と操作の呼応



友達と音かたまり！



英語って「かたまりから
できてるんだ！」

友達との活動例 (a e i o u)

5つの母音は歌をきいて真ん中の音に耳を澄ませよう **Deu**

The Vowel Song (aeiouの歌)

母音のデモは難しい、音源を使う。

https://www.youtube.com/watch?v=Hu1Ku7SJf_s&list=RDHu1Ku7SJf_s#t=96

Hu1Ku7SJf_s&list=RDHu1Ku7SJf_s#t=96



教材化?



◇CVCって何?

3文字の真ん中の母音を

聞き取る



先生は、左の4つの単語を発音して、真ん中の音が a.e.i.o.u.のどれであったかたずねる。



van pan jam hat

4線は、簡単に
チョークで黒板に!



上から3本目の線を
赤色にして書くと良い

やってみよう! 研修



CVCってなに?



フィードバック

絵本指導 CLIL につなぐ例

(内容の広がり・自己効力感へ)



絵本のクローズドタスク(N市6年生)

ティク・タク・トゥで、絵本に出てくる音素を主に学び、**逆向き設計で絵本が1冊読める**ようになる授業の場面(N市、小学校6年生)

「ピース・メッセージ」の授業場面における、メッセージの交換(N市6年生)



他教科で平和学習をしている小学校6年生が平和についての絵本『The Peace Book』を聞いた。先生は絵本を子どもに分かるように再話し、カルタの活動にし、それぞれの平和のために出来ることを日本語で考え、専科の先生と英語のメッセージにした。字はまだ全部読めないが、**先頭文字など推測が効くので、考えながらペアワークができる。**

授業ビデオ➡

6年 平和へのメッセージ & 文字活動

6年 防災教育 Want or Need & 文字活動

数十冊の海外と日本の本
4年3組の子どもたちがくれた確かな反応(2005年)



世界の小学校では、どのように教えているのか？

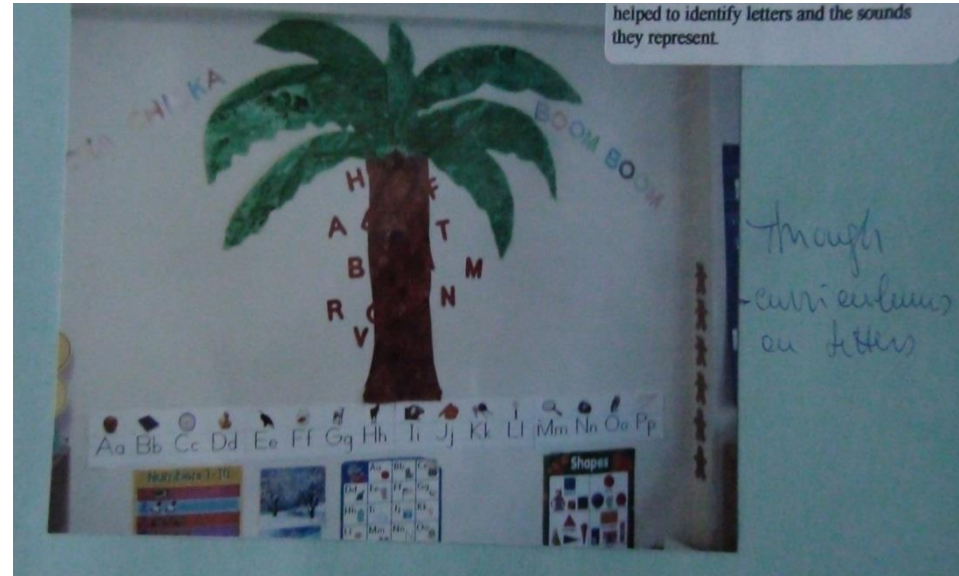
「教師として、見通しを持ちたい！」

音声から文字へのステップス(海外)

先行研究（海外の小学校 英語が母語）



先生の“Bear Pear”でダッシュ ゲーム



ぶんぶんボード t/d ではじまる言葉は
t tiger top vs. d dog donkey



壁一面の、お話を、たどって教室へ

USA ボストン 5歳
(写真: 柏木, 2011)

小学校1年 6歳－7歳

一人一人はこんなに違う

1人1つ 「デコーディング ボックス」

USA ボストン 7歳 (写真: 柏木)



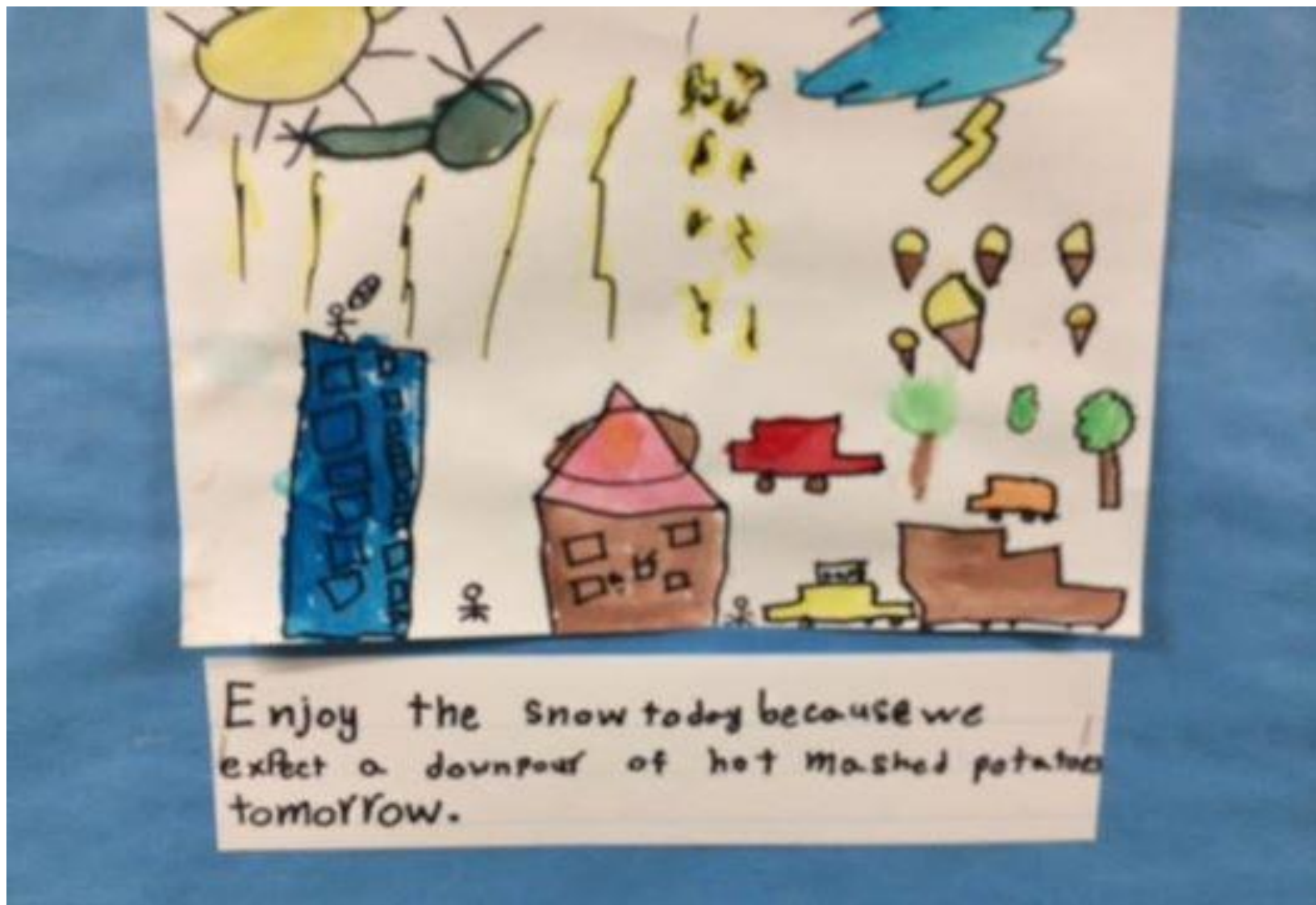
Joy BLOSSOM



I Like SUNNY

I Like SUNNY BLOSSOM MY BIKE

USA ボストン 7歳 (写真:



USA ボストン 7歳 (写真: 柏木)

4歳から、たくさん間違いながら、8歳で、やっと話すことばが文字になる

USA

USA ボストン 10歳 写真： 柏木

“All About Me”
9月の自分ポスター

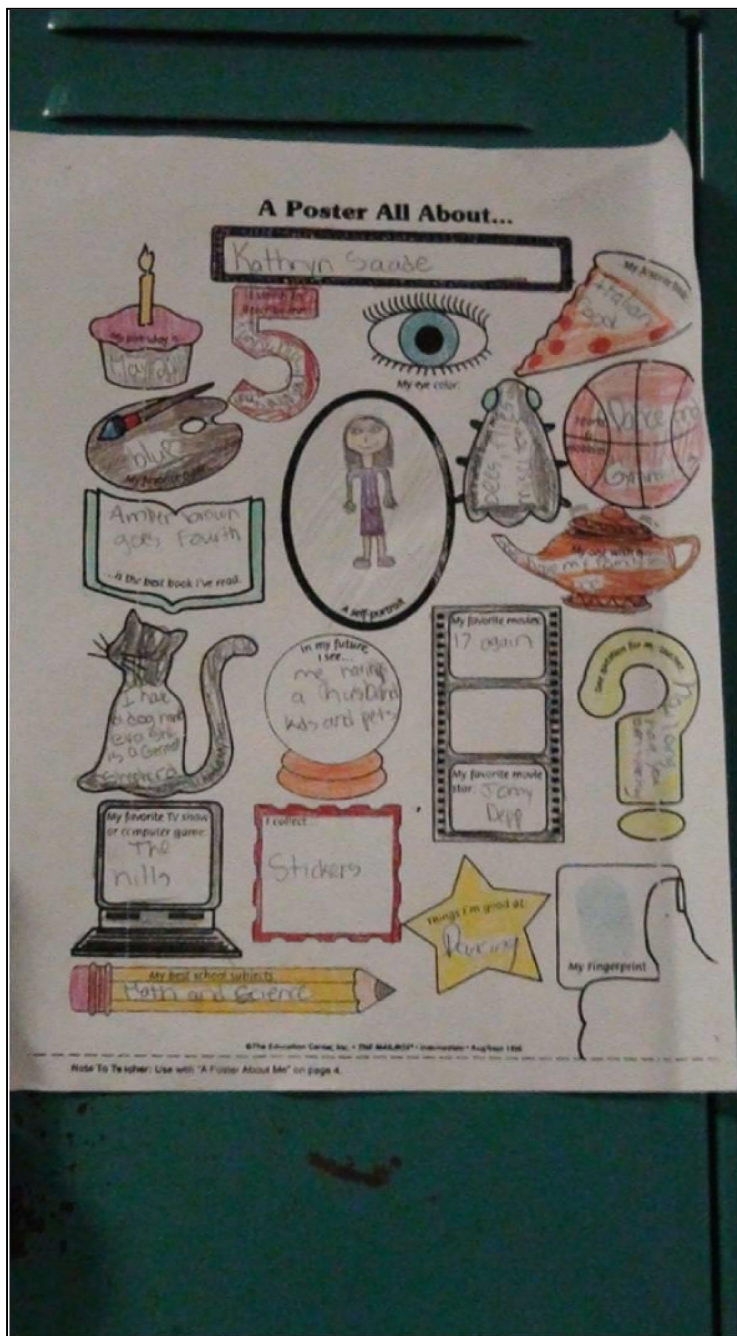
I have a black cat
and . . .

英語の読み書きは、他の言語より
時間がかかる。10歳でようやくエ
ラーが見られなくなった。

USA 9歳はまだまだ(移民の子ども含む)

FIGURE 1-9 Early Within Word Pattern Spelling:
Kim's Soccer Game

My teme won the scoer game.
I was the boll girl.
We had to use cons
for the gowl. Evre time
the boll wintdowe Hill
I Had to Throwe them a
nother boll.



先行研究（海外の小学校 EFL）



-oy のライミングを聞き取る タッチボード

台湾 私立小学校 EFL 10歳 写真：柏木,2012

先生のアフリカのお話を聞いて 出てきた果物を描く

CLIL と 音声+文字 デコーディング



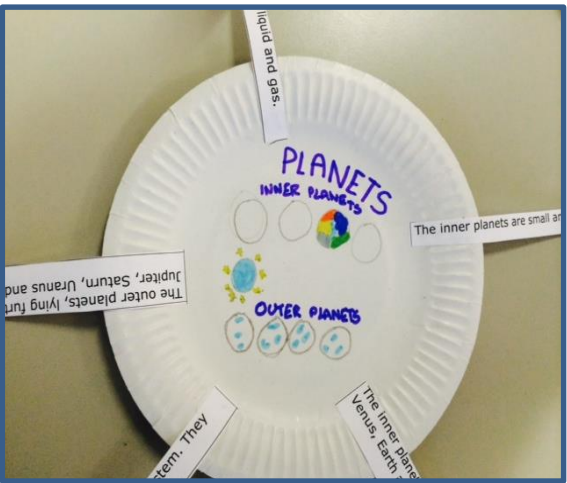
**The monkey
eats a banana.**



イタリア 公立小学校 9歳 EFL
写真：柏木, 2015 シルバナ氏提供

ただ、ワークシートを配って、アルファベットや単語を、暗記させる授業は・・・ほぼない。

先に「読める」を活用した情報の書き写しを活用している。



太陽系の惑星 情報を「読める」が先

INGREDIENTS	COCOA MASS, SUGAR, NATURAL VANILLA EXTRACT, ...			
PERCENTAGE %	9.9%			
TASTE	very sweet	sweet	bitter	very bitter
MOISTURE	6.22	53.7		
BOHYDRATES	16.3			
PROTEINS	19.26%			
ORIGIN	ITALY			
DATE	10/2/2016			
PRICE	2.99			
SCORE	9			

イタリア 6年 CLIL カカオの産地

音声（音韻認識）からゆるやかに！

耳 体 多感覚を使って、友達と！

世界の先生が、研修を一生懸命行って、
指導を工夫している

日本は、まだこれからなので、ゆるやかに、しかし科学的知見から、
しっかり学んで、日本の子どもに合った方法を共有したい。

（「読み書き」は小学校が責任を負うのでなく、英語免許を持つ中
学校教諭へ橋渡しがポイント！）

先行研究（日本ほか）

子どもは一人で本が読めるようになるための、**最小限の音と綴りの関係**（フォニックス）を学ぶと良い。フォニックスは音声学的立場とは異なり、理にかなった**教育的手段**である（ハイルマン 松香洋子 監訳, 1981 p.139）

フォニックスの前に、子どもは次のようなことに慣れているかが大切である。

聞こえてくる音を識別できる（音韻認識） a fat cat

文字の形を識別できる（文字認識） a fat cat

英語の音のかたまり（音素）と綴りの関係がわかる f · at c · at

ルールは、よく当てはまるものでよい。ルールだけでなく、暗記（**サイトワード**）もある
（of her 目で覚えた方が速い）

音声のみでも内容を推測しようとする ⇒フォニックスに「たよらない聞き方」



音韻～音素～文字指導の落とし穴

- 1 また、新しいルールが降ってきた！ (×)
 - * ボトムアップのみに走るケース
- 2 内容のあるティーチャートークやお話と合わせる (○)
 - * トップダウン フォールランゲージ 体験型
 - * ルールを見つけるのが楽しい⇒読めた実感
- 3 フォニックスは万能ではない (それでも70%のものも)
 - * ローマ字からの推測
 - * 辞書引き (発音記号との関連) も重要 ⇒中学校へ
- 4 全部教えなくても、当てはまる率の多いルールを優先に

「森を見て木を見る」

言語活動全体＝森

音韻⇒音素認識で読める
(フォニックス)



落とし穴⇒「木を見て森をみない？」

他の言語に比べて、英語の読み書きは複雑である(ハイルマン)

日本語⇒「ね・こ」 ne / ko モーラ数 2

英語⇒ cat モーラ数 1 音節 2個 c/ at オンセット・ライム
出だしの音 + 終わりの音

このようなボトムアップアプローチと、トップダウンアプローチは、
どちらが良いか、ではなく、両方とも大切である。
音声言語を伸ばす⇒ボトムアップ⇒トップダウン⇒内容の理解を促す

(アレン, 2010)

日本の子どもが、英語の本を読めるようになるには、リズムと音節に
気づく耳を育て、音の分化(Segmentation)(例:pig=p・ig) から、音の合成
(Blending) ができる力を育てる必要があり、ここが弱いままである(村上,2015)。

読みの経験で必要なAwareness

Rhyme ⇒ Syllable ⇒ Onset Rime ⇒ Phonemic (Ikeda, 2015, p.59)

(Ikeda, 2015, p.59)(村上, 2015)

教科化でも変わらないこと

音声
のみの
良さを

しっか
り残す

聞く

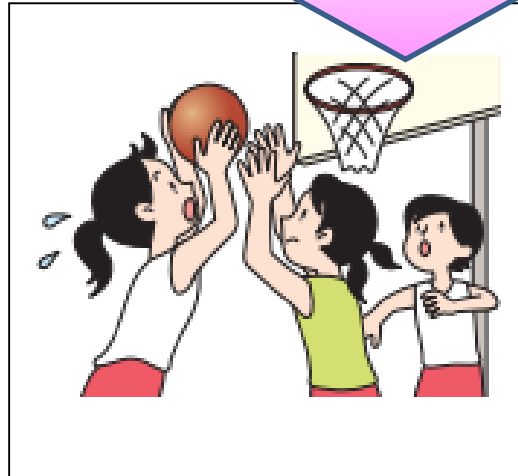
(活動:
聞いて
反応)

話す
(模倣)

3年生 4年生 は、文字のない世界から始めよう

「Hi, Friends！」ファイル配布 600枚の
絵カードに、文字がついていない意味を大切
に。

こっち！



文字なし(音声だけでアクセス)

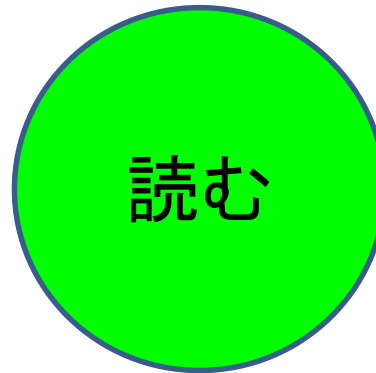
文字がないから、音声の特徴には、
中1よりも小6が敏感

5年生 6年生 は、音声に慣れてきたかまず見取る

今までと同じように、「音声基盤」と「内容」に重点を置く

音韻・音素に注意をむけさせる活動を多感覚で行い、「音と文字のつながり」に注意をむけさせる

聞く



音韻・音素
5ステップス、
デコーディング



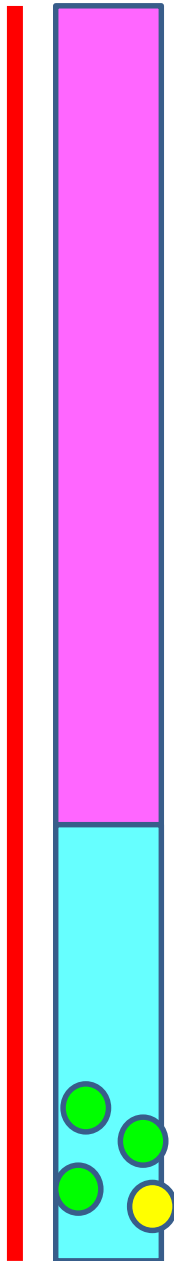
プリントで正しく書ける
まで、練習を繰り返す
のではなく、

意味のある内容で出会
わせる

聞いて借りて
話す
(模倣)

音と文字のつながり

文字の形の認識



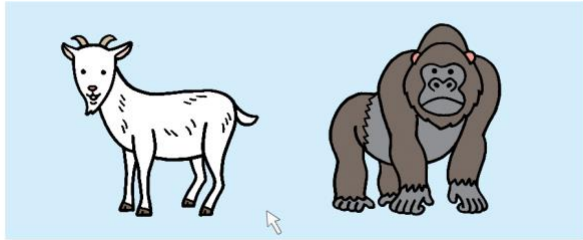
3 Hi, Friends! Plus を使ってみて

(5ステップ段階性から音韻を音素に導くには・・・)

文字の形認識(楽しいクイズ)

フォニックスジングル (3種類)

ジングル Two words (Version1)



はじまりの音に気をつけよう

クイズ6 仲間の言葉を集めよう

Uu



up



umbrella

絵本 と 文構造の気づき

A is chasing B の繰り返しから主語と目的語の語順をという意図のようである。

韻をふむ「歌」や「詩」にふれる音声教材を右脳発想で！ Paper Mirror 3D 表裏

ジングルを使った「3文字単語」例 fox

終わりの音 音韻

日本の子どもが苦手な音韻
オンセット・ライム b/ox p/ig

「絵本」本物の味わいのあるものを、デコーディングに再話する
中1 (教科書)との乗り入れに期待

音声からの子どもは「主語」や「動詞」で離れた語順でなく(品詞は大人の理解)

「音声チャンク内」 pull X eat Y のVO文構造のほうが気づきが早い
文法でなく「チャンクのフレーム」で

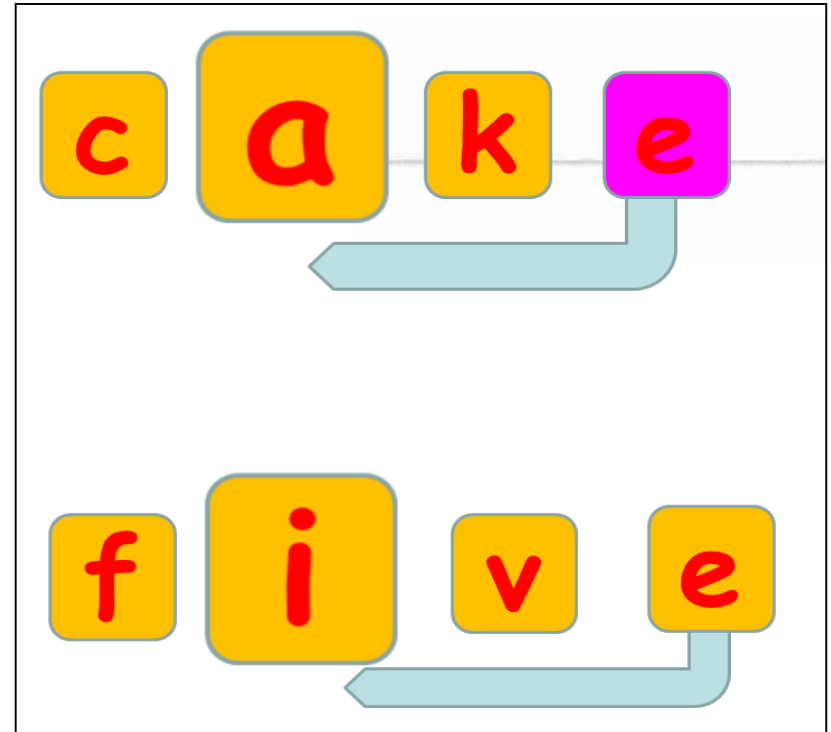
言語によっても読み書き習得の困難が異なる。日本語は「つ・く・し」という音がそのまま文字になる表音文字であるので、教師は、英語もなぞれば読めると思い込んでしまう。また英語の教師は暗記型でやりくり出来たため、大半が落ちこぼれている理由に気づきにくい（柏木, 2014）

音韻認識
ワーキングメモリー
文字と音の対応
視覚的認知力

ここの弱さをもっていると、読み書きに支障がしやすい。音と文字の対応で読める「デコーディング」の指導が日本では、**ミッシングリンク**になっている（村上, 2015）

英語圏では、**ディスlexia**（読み書き困難の症状）の出現率は**10～20%**と言われる。日本語（**7%**） イタリア語（**2%**）と比べても難しい。

マジックe等は、余裕があれば



「マジックe」で教えるか、「オンセット・ライム」で教えるか・・・音にどれぐらい慣れたかによる。

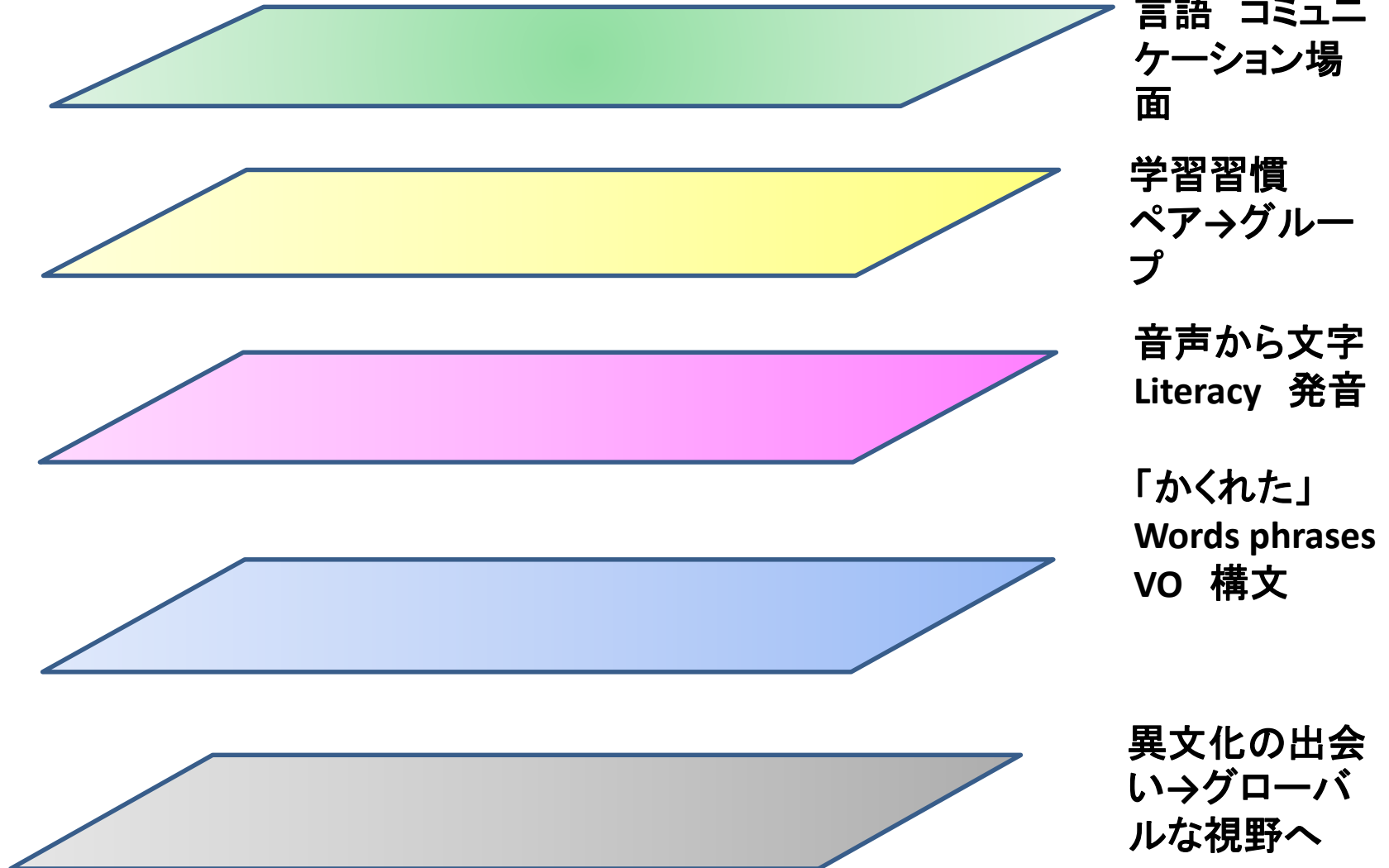
オンセット・ライム お楽しみ作品
マジックe (動画)
(柏木-クラスで作成)

教員が皆で研修できるのであればよいが、そうでなければ、中学校との「橋渡し」を！

Tree の「絵」と「綴り」を見せただけでは、音素のかたまり認識では読めないのに、手でなぞらせ、読めたことにしますか？ = 暗記させますか？



子どもの学びは、偶然には生まれない 「Hidden Curriculum」の基本概念（柏木）



小中一貫校における、考案例

音声から文字

歌などをとおしたリズム

音韻の聞き分け

アルファベットの形の認識

アルファベット (名前読み) アルファベット順番
大文字と小文字の一致

フォニックスアルファベット (仕事読み) 出だし文字

フォニックス (導入) 三文字 (身の回り) オンセット・ライム

フォニックス (基礎) ワードパターン・ブレンディング

フォニックス (応用) ワードツリー

辞書引きと発音記号への親しみ

音韻に気づく
楽しい活動

音素と文字
の楽しい活動

フォニックスは万能ではない
自立して読む次へのステップ

アルファベットの形の識別
国語科ローマ字の徹底

しっかりしたローマ字体系と、英語のアルファベットの違いに気づく

フォニックスの「ボトムアップ」 ⇔ 絵本や読み物へ「トップダウン」

寝屋川市のこれまでの英語活動・プロジェクト CLIL（内容言語統合型学習）を生かした カリキュラムへ統合する(N市-O市)

ex.大文字に親しむ活動

ex.ストーリーと小文字

中1
フォニックスへ

ステップ 1			ステップ 2			
第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	中1	
10	20	20	35	35	10	ルール/142 コミ
身近な場面での活動を通して、英語の音の特徴に慣れ親しむ活動			音声によるひとことまじりの表現をためて、「音声とつづり」や「文のしくみ」に気づき、豊かな言語内容に触れながら考			
あいさつしよう(1)	自己紹介をしよう(2) ⇒ 自分のイニシャルデザイン	友達を紹介し合おう(2) ⇒	世界の国のあいさつ(4) 世界のファッション・民族衣装	自分の一日を紹介しよう(4) 動作を表す	身の回りのものにある単語 ☆E-NAM フォニックス a~z (1)	アクションタ
What's your name? My name is Mai.	My name is Mai. My initial is "M" I like Grapes. イニシャルと好きな食べ物を紹介	I am Takashi Mori. I like peaches. (自分の姓名をローマ字で書いて名刺交換をしよう)	Hi, 안녕하세요 (アニョハセヨ). Chung is from Korea. He wears ~. ☆Have You Seen My Cat ?	I get up at 6:00 am. Then I eat breakfast. I go to school. I study science... I eat ... I have ... I use ... I want ... I like ... I play ... on Sunday	ポインティングゲーム 大文字A~Z復習 小文字a~zで始まる単語 (名前読みとフォニックス読みの違い)	TFR(全身反 ペアで命令 A Walk and B ジェスチ
英語の音に親しもう(2) ⇒ ナナチャンツ	朝のスマールトーク(2)	好きなスポーツ(2)	時間割を作ろう 世界の学校(4)	行ってみたい国を紹介しよう(4)	フォニックス 3文字単語 音素カード (1)	My Project
英語の音を感じる遊び ないちもんめ はじまゲーム ナナチャンツ	What day is it today? What's the weather today? It's sunny.	What sports do you like? I like baseball. Can you play baseball? Yes, I can.	I have math on Monday. I like math. In Brazil, ~	I want to go to Egypt. I want to see the pyramids.	大文字・小文字のマッチング フォニックス(仕事読み) 混同しやすい文字 (b-d-p)(m-n)(l)(p-q)(v-w) 小学校の18個の音素カード復習	Hell, I'm Sat Junior High I like Shogi. Show& Tell
と形でセタがざりをつこう(2) ar Festival	食べ物の絵本に親しもう(4) 身の回りの表現(昆虫 食べ物)	スクールランチ(2)	新教材()	Fat Cat Sat on the Mat(3) ⇒	音韻認識の復習 Odd - One - Out (1)	Speaking 1
What shape is it? How many? One star, please. Star, Circle, Triangle, Rectangle.	☆The Hungry Caterpillar(絵本)― 音声でジェアードローディング Pears, Oranges, Sausage, Cherry Pie Are You Hungry♪	In India What would you like? I'd like curry.		母音(a e i o u) 音韻認識でステップ フォニックス(先読音) 次の9つの音素カード 大文字と小文字の区別をみぞて書き	小文字の形認識 仕事読み(フォニックス) 3文字単語 (dog, cap) マジックE 礼儀正しい母音	What time is What time o
食べ物の絵本に親しもう(2)	アルファベット大文字に親しもう(2) ⇒	アルファベット小文字a~z(2) ⇒	アルファベット Aa Bb Cc(3) ⇒	4年生にフーリーディングをしよう(3)	身の回りの単語 デジカメ大作戦 (1)	Speaking 2
Brown Bear, Brown Bear, What do you see? (絵本)― 声でジェアードローディング ar, Circle, Triangle, Rectangle.	ABCソングを正しい発音で歌おう ABCペアで形遊び ABC順番つなぎ ABC順番つなぎ	大文字の復習 小文字a~z アルファベット順番	大文字・小文字のマッチング フォニックス(先読音) 混同しやすい文字 (b-d-p)(m-n)(l)(p-q)(v-w)	1~5年で親しんだ絵本から	身の回りの単語(パワーポイント)と発音 アルファベット迷路(A~Z a~zの順番) クラスルームイングリッシュ	Whose more I don't know Oh, I see a Really? I'm

8 2014-2015年 寝屋川の取組 先生 & 子どもたち

今までと変わらない、内容やプロジェクトを大切にした授業



七夕飾りと色の足し算 (CLIL2年)

統合



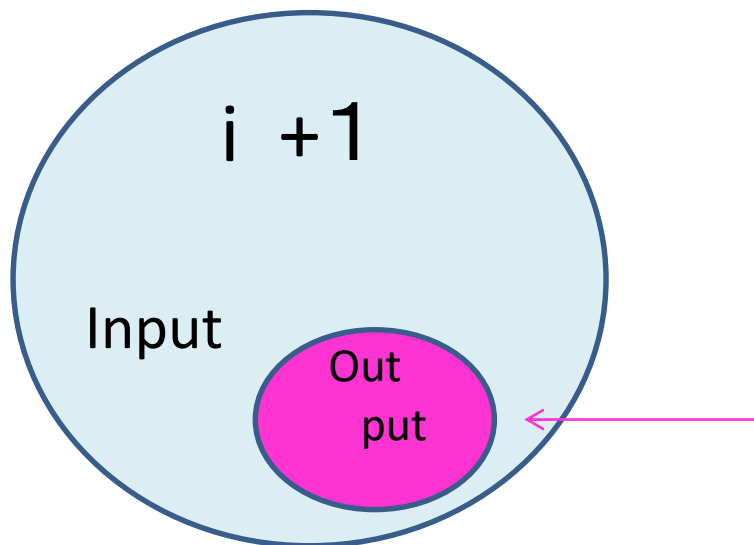
世界の民族音楽と楽器と音色で (CLIL6年)

音声から文字への5ステップス
ゆるやかなモジュール



音と文字のつながり

4 文構造への気づき



Output (Not production)

つぶやき

おうむ返し

まるごと表現

‘チャンキング認知処理’

事例学習 (アイテム学習)

英語の内容に興味を持ち耳を傾け模倣してみる学び方は「アイテム学習」と言われる。丸ごと表現として言葉を使う学びのことを言う (Tomasello, 2003)。

①最初は「まるごと全部」(Token)

③やがて、動詞が「紐」=スロット

Draw X on Y

Draw a **square** on it

②次に **ここ**が「紐」=逆スロット (Segmentation)

動詞の島仮説 (Tomasello, 1994, 2003)

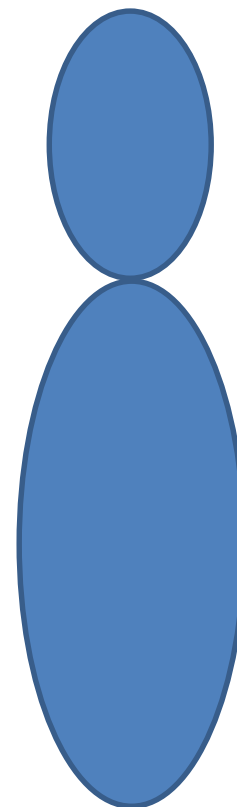
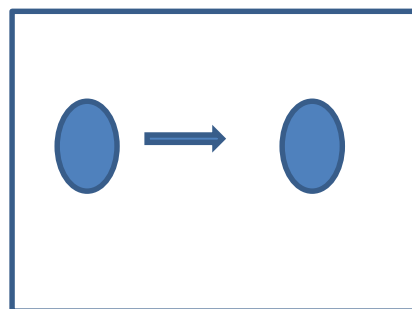
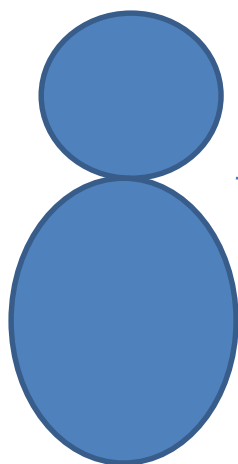
Block **get-it**(16か

月) Mommy, **get** sauce(19か月)

Get me up there (19
か月)

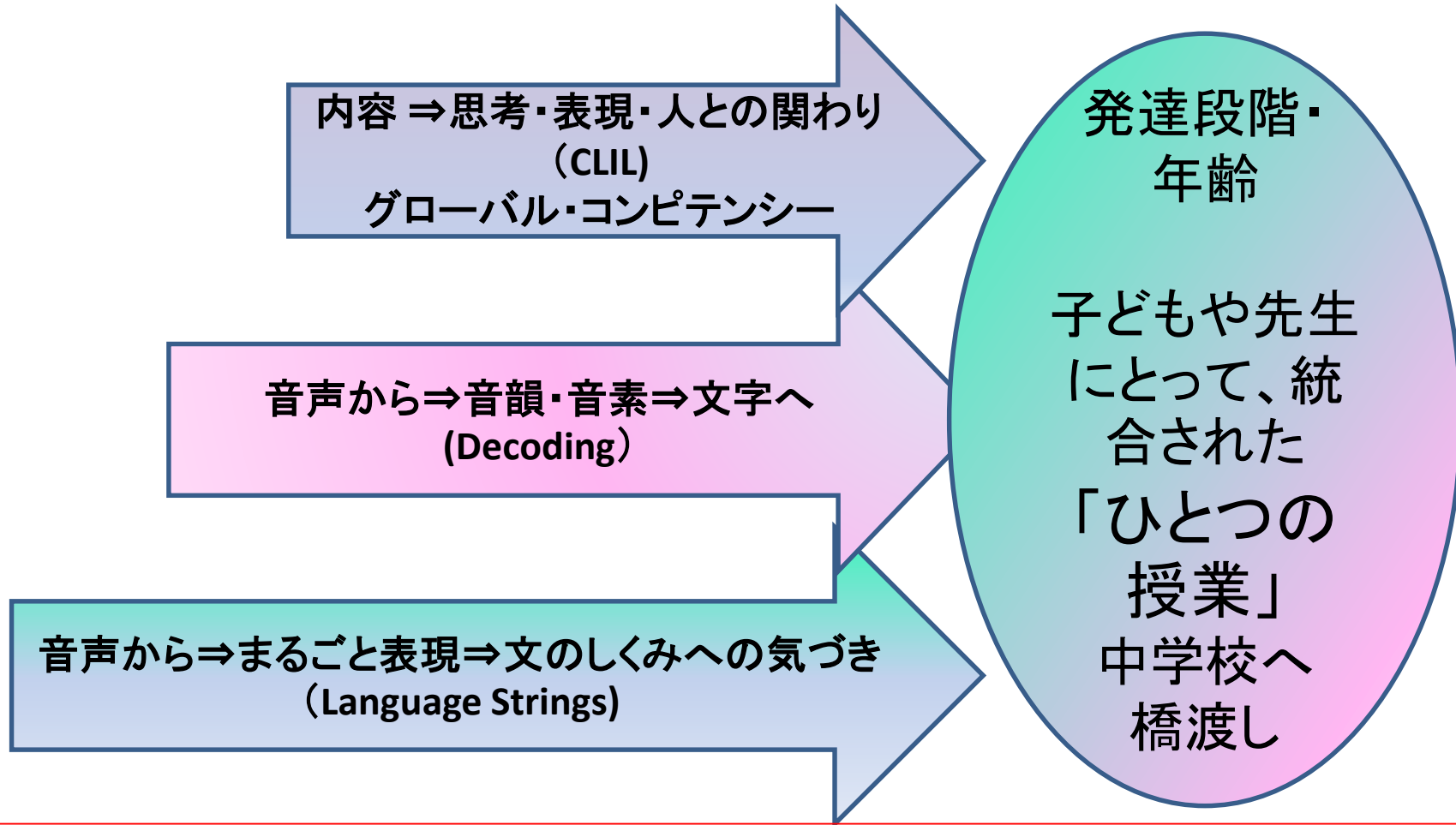
Do I **get** coca-cola? (23か
月)

Get----



母と子どもの双方向のコミュニカティブな意図を介在して動詞は獲得される
Joint Attention

「文のしくみへの気づき」



提案する三つの内容は、発達段階と、理解にあわせて、「最適のタイミング」で出会い、統合される必要がある。
子どもは、「偶然の指導では、学べない」→「やってみて(実践)、確かめてみて(データ)、みなさんと共有する(応用)」

Usage-Based Modelから 事例学習 (Exemplar-Based Learning) とは？

- 事例学習は、規則学習の導入後も
言語獲得全般をカバーする学習 (素地)
- チャンク表現は、いつでもポータブル
(持ち運び自由)
- 最小のGrammaticalな表現を蓄積する
Item-based Grammar (非文は蓄積の意味がない)
- 事例学習は、手続き的知識 (procedural
knowledge) の増幅 →
暗示的知識へ

参考文献

音声から文字への5ステップス 参考文献

- Bear,R. et al.(2007).*Words their way: Word study for phonics, vocabulary, and spelling instruction*. Prentice Hall.
- Calkins,M.C.,&Harwayne.S.(1987) .*The writing workshop: A world of difference*. Heinemann.
- Sobut,A.M.,&Bogen,N.B.(1993). *Whole Language Literature Activities For Young Children*. The Center for Applied Research in Education. NY.

参考文献(日本)

- アレン玉井光江 (1981) 『小学校英語の教育法 理論と実践』 大修館書店
- Ikeda, C.(2015). *Introducing phonological awareness and early literacy instruction into Japanese elementary school English education: Its significance and feasibility*, KAITAKUSHA. Tokyo.
- 柏木賀津子(2014)「小学校における英語教育」『英語教育学の今-理論と実践の融合』(第1章), 全国英語教育学会 14-18.
- ハイルマン・松香洋子 監訳 (1981) 『フォニックス指導の実際』 玉川大学出版部
- 松香洋子フォニックス研究所 (2003) 『Phonics Activiites for Fun』 MPI
- 村上加代子(2015)「英語の読み書きにつまずく生徒への指導」『実践障害児教育』(8月号)
- Paul,D.(2006).*New Finding Out 1&2*.MACMILLAN
- 松香洋子・田縁真弓 (2011)『We Can! フォニックスワークブックwith CD』 mpi

その他「手引き」に参照した教材参考例

阿部フオード恵子(2001)『Let's sing together: Fun Book』アプリコット

松香フォニックス研究所(2003)『Phonics Activities for Fun』松香フォニックス研究所

松香フォニックス研究所(1999)『72 Activities for Elementary School English』松香フォニックス研究所

中本幹子(2004)『Cat, Hen, Pig, Fox and Snake, RUN!』アプリコット

中本幹子(2001～) アプリコットPicture Book シリーズ (2001年～) アプリコット出版

Charlesworth, L. (2000). *Word Family Wheels*. Scholastic. NY.

Hunt, R. (2008). *Oxford Reading Tree シリーズ* Oxford University Press
(1989年から長年親しまれている)

Shaw, G. (1997). *Hello Reader! Activity Book*. Scholastic. NY.

Word Family: Sing-Along (Flip Chart & CD) Scholastic. NY.
(音素に親しめる多くの替え歌 CDつき)

(語彙の少ない日本の子どもにも親しみやすいActivityのヒントがある絵本多数を参照して、「手引き」を作成しています。図版については編集中です)

論文

Dian Schaffhauser, D. (2015). How Phonics is Taught Can Affect How Well a Child Learns To Read,